

(様式第9)

九大院医医第62号
平成20年10月1日

厚生労働大臣 殿

九州大学病院長
久保千

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告致します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	268人
--------	------

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医 師	530人	0人	530人	看護業務補助	21人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	169人	0人	169人	理学療法士	9人	麻酔臨床検査技師	78人
薬剤師	58人	0人	58人	作業療法士	4人	衛生検査技師	2人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	鍼灸その他の	0人
助産師	39人	0人	39人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,094人	9人	1100.8人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	1人
准看護師	2人	0人	2人	栄養士	0人	その他の技術員	3人
歯科衛生士	15人	0人	15人	歯科技工士	5人	事務職員	237人
管理栄養士	5人	0人	5人	診療放射線技師	66人	その他の職員	40人

※ 非常勤欄は非常勤の単純人数

※ 合計欄は非常勤を常勤換算した人数と常勤の人数の合計（小数点第2位を切り捨て）

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,041.2人	33.6人	1,074.8人
1日当たり平均外来患者数	1,853.5人	580.4人	2,433.9人
1日当たり平均調剤数		4287.3剤	

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	人
胎児心超音波検査	有・無	人
インプラント義歯	(有)・無	7人
顎顔面補綴	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白質の測定	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
三次元形状解析による顎面の形態的診断	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
腹腔鏡下肝切除術	(有)・無	2人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
成長障害のDNA診断	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
骨髄細胞移植による血液新生療法	有・無	人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
重粒子線治療	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
31鱗-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
神経芽種のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
重傷BCG副反応症例における遺伝子診断	(有)・無	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素凍結骨移植	有・無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	(有)・無	11人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
活性化リンパ球移入療法	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
三次元再構築画像による股間節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
HLA坑原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	人
抹消血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	人
超音波骨折治療法	(有)・無	1人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・韌帯組織の凍結保存	有・無	人
X線CT診断装置に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	人
膀胱水圧拡張術	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	人
肝切除術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
樹状細胞と腫瘍抗原ペプチドを用いたあがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
腹腔鏡下子宫体がん根治手術	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	(有)・無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	(有)・無	14人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	(有)・無	21人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
カフェイン併用化学療法	有・無	人
胎児尿路・羊水路シャント術	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人
眼底三次元画像解析	(有)・無	0人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチエット病	155人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	49人
・多発性硬化症	188人	・ウェグナー肉芽腫症	14人
・重症筋無力症	149人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	46人
・全身性エリテマトーデス	363人	・多系統萎縮症	30人
・スモン	8人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	56人	・膿疱性乾癬	4人
・サルコイドーシス	115人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・筋萎縮性側索硬化症	48人	・原発性胆汁性肝硬変	97人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	166人	・重症急性胰炎	7人
・特発性血小板減少性紫斑病	87人	・特発性大腿骨頭壞死症	152人
・結節性動脈周囲炎	21人	・混合性結合組織病	36人
・潰瘍性大腸炎	288人	・原発性免疫不全症候群	41人
・大動脈炎症候群	55人	・特発性間質性肺炎	10人
・ビュルガー病	41人	・網膜色素変性症	111人
・天疱瘡	24人	・プリオント病	0人
・脊髄小脳変性症	68人	・原発性肺高血圧症	14人
・クローン病	224人	・神経纖維腫症	23人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	30人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	4人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	172人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	11人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	7人
・後縦靭帯骨化症	60人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン舞踏病	2人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週2回程度 月8回程度	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 102 例	剖検率 42.5 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
造血システムにおける腫瘍性幹細胞およびその悪性化に関する遺伝子の同定	赤司 浩一	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	1,320万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
幹細胞制御に関するマイクロRNAのプロスペクティブな分離・同定法の開発	赤司 浩一	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	170万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
癌幹細胞の分離と機能解析	赤司 浩一	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	130万円	厚生労働省がん研究 助成金 補委
原発性胆汁性肝硬変の発症および病態形成に関する自然免疫と獲得免疫の解析	下田 慎治	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	180万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
定量的一塩基多型解析技術の開発と医療への応用	田平 知子 堀内 孝彦	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	2,100万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
BAFF,APRILおよびその受容性の機能解析と自己受疫疾患発症への関与の検討	塚本 浩 堀内 孝彦	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	170万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
Jakの新規基質であるRack-1を介するサイトカインシグナル伝達の解析	沼田 晃彦	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	150万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
階層的血球分化モデルに基づく白血病幹細胞の純化・同定	亀崎 健次郎	血液腫瘍内科 免疫・膠原病・ 感染症内科	240万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
クローン病の薬物療法	飯田 三雄	消化管内科	150万円	厚生労働省科学研 究費補助金 補委
下部消化管疾患におけるフォスフォリバーゼA2の遺伝子解析	松本 主之	消化管内科	90万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
炎症性腸疾患患者の各種治療前後における表面マーカーおよびケモカイン発現の検討	矢田 親一朗	消化管内科	70万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
大規模コホートに基づく生活習慣病研究教育一久山型研究を応用した日本人特有の発症因子の解明と先端医療の開発	飯田 三雄	腎・高血圧・ 脳血管内科	1,160万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
膵ランゲルハンス氏島と脂肪組織の微小循環調節に関する研究	岩瀬 正典	腎・高血圧・ 脳血管内科	90万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
センダイウイルスベクターを用いた脳微小血管構築を標的とする脳梗塞遺伝子治療の研究	大星 博明	腎・高血圧・ 脳血管内科	234万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
脳血管ペリサイドのストレス応答における細胞内情報伝達機構に関する研究	鴨打 正浩	腎・高血圧・ 脳血管内科	104万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
キサンチンオキシドリダクターゼ遺伝子の生体における役割	大坪 俊夫	腎・高血圧・ 脳血管内科	182万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
血管新生因子による血管病変増悪と修復に関する病態学的研究	中野 敏昭	腎・高血圧・ 脳血管内科	142万円	文部科学省科学研 究費補助金 補委
性分化に及ぼす性ステロイド合成・作用系異常に関する基礎的、臨床的研究	柳瀬 敏彦	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科	1,660万円	文部科学省科学研 究費補助金(特定領域 研究) 補委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
副腎ホルモン産生異常にに関する調査研究	柳瀬 敏彦	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科	150万円	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 補委
男性ホルモンの低下に起因する老年病の治療戦略とその機序に関する総合研究	柳瀬 敏彦	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科	100万円	厚生労働省科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業 補委
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	柳瀬 敏彦	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科	100万円	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 補委
炎症性腸疾患の画期的治療法に関する臨床研究	中村 和彦	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科	400万円	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 補委
潰瘍性大腸炎患者制御性T細胞の培養増殖・分化誘導法の研究	中村 和彦	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科	169万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C 補委
慢性脾炎転帰調査における脾性糖尿病に関する検討	伊藤 鉄英	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科	100万円	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 補委
腸内細菌とストレス反応:動物実験と臨床研究の融合による統合的解明	久保 千春	心療内科	936万円	日本学術振興会 補委
肝疾患における心身相関:動物モデルによる解析と前向きコホート研究を用いた全貌解明	須藤 信行	心療内科	390万円	日本学術振興会 補委
視神経脊髄型多発性硬化症のIL-17産生性T細胞の認識自己抗原とその役割の究明	吉良 潤一	神経内科	494万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
筋萎縮性側索硬化症に対するG-CSF療法の開発	吉良 潤一	神経内科	130万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
アルツハイマー病における細胞内アミロイドβを標的とする治療薬開発	大八木 保政	神経内科	169万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
てんかん性放電抑制に対する頸部冷却治療—てんかん動物モデルでの検討	重藤 寛史	神経内科	78万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
視神経脊髄型多発性硬化症の病態解析—血管関連因子を中心には—	小副川 学	神経内科	130万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
低分子量GTPase阻害剤による多発性硬化症の新規治療法の開発	三野原 元澄	神経内科	286万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
TGF-β陽性調節性T細胞を標的とした多発性硬化症の画期的治療法開発に関する研究	越智 博文	神経内科	286万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
ALSの運動ニューロンにおける小胞体ストレス惹起蛋白の解明と治療法の開発	菊池 仁志	神経内科	286万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
視神経脊髄型多発性硬化症における自然免疫異常と再発惹起因子	河野 祐治	神経内科	234万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
筋萎縮性側索硬化症におけるミクログリア介在性の炎症機転の解析	立石 貴久	神経内科	200万円	文部科学省科学研究費補助金 補委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
免疫性神経疾患に関する調査研究	吉良 潤一	神経内科	6,760万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
脊髄損傷患者の血圧調節失調を克服するためのバイオニック血圧制御システムの開発(基盤S)	砂川 賢二	循環器内科	2,158万円	日本学術振興会 補委
植え込み型突然死防止装置の開発	砂川 賢二	循環器内科	100万円	厚生労働省 補委
特発性心筋症に関する調査研究	砂川 賢二	循環器内科	140万円	厚生労働省 補委
シミュレーション技術の革新と実用化基盤の構築	砂川 賢二	循環器内科	100万円	科学技術振興機構 補委
難燃性マグネシウムをプラットホームとする世界初の生体完全吸収性ステントの開発(萌芽研究)	江頭 健輔	循環器内科	340万円	日本学術振興会 補委
未来医療を拓く我が国発世界標準の生体完全吸収性ナノテクDDS制御ステントの開発(基盤B)	江頭 健輔	循環器内科	1,274万円	日本学術振興会 補委
先端技術(医・工・薬・ナノ)融合のインテリジェントナノDDS制御技術開発に基づく低侵襲血管内医療システム(分子標的医薬溶出)	江頭 健輔	循環器内科	6,500万円	厚生労働省 補委
難治性心不全に対するPDE5阻害剤の効果を検証する無作為化比較試験の計画に関する研究	戸高 浩司	循環器内科	1,000万円	厚生労働省 補委
メタボリック症候群における高血圧:交感神経系活性化の脳内機序解明及び治療法の開発(基盤B)	廣岡 良隆	循環器内科	689万円	日本学術振興会 補委
抗炎症分子を利用した血管病変の画期的な治療法と新規遺伝子デリバリーシステムの開発(基盤C)	市来 俊弘	循環器内科	234万円	日本学術振興会 補委
足温熱療法による心不全改善効果:自宅で簡単に出来る新しい心不全治療の開発(基盤C)	竹本 真	循環器内科	299万円	日本学術振興会 補委
遺伝情報を用いた虚血性心疾患における日本人特有のリスク層別化および治療戦略の開発(基盤C)	小池 城司	循環器内科	221万円	日本学術振興会 補委
ウェーブレット解析法を用いた重症心不全に対する新たな診断・治療法の開発(若手B)	岸 拓弥	循環器内科	150万円	日本学術振興会 補委
心不全を有さない高血圧患者群に対するアルドステロン拮抗薬追加の有用性に関する研究(若手B)	西坂 麻里	循環器内科	190万円	日本学術振興会 補委
増殖型ウイルスを用いた遺伝子治療ベクターの搬送システム	高山 浩一	呼吸器科	120万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
喘息に対するウイルス関連因子2本鎖リポ核酸の病的意義の解明と新規治療法の探索	松元 幸一郎	呼吸器科	120万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
SOCS3による喘息反応の制御	福山 聰	呼吸器科	120万円	文部科学省科学研究費補助金 補委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
EGFRリガンドによる肺損傷・線維化修復に対する新たな治療法開発	濱田 直樹	呼吸器科	160万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
萌芽研究 胎盤発生におけるTSSC3蛋白機能の解析	和氣 徳夫	産科婦人科	130万円	日本学術振興会 補委
基盤研究(C) 進行再発卵巣癌に対するがん休眠状態を目指したテラーメード化学療法の基礎的臨床的研究	小林 裕明	産科婦人科	273万円	日本学術振興会 補委
基盤研究(C) RCAS1をターゲットとした新たな婦人科癌分子標的治療開発に関する研究	園田 順三	産科婦人科	130万円	日本学術振興会 補委
基盤研究(C) 子宮体癌のパクリタキセル耐性における微小管結合蛋白質Tauの関与についての研	上岡 陽亮	産科婦人科	169万円	日本学術振興会 補委
若手研究(B) p21による活性酸素産生系と癌細胞死誘導能との関連の解析	井上 貴史	産科婦人科	120万円	日本学術振興会 補委
基盤研究(B) 子宮体癌の発癌機構の解明と治療法の開発	加藤 聖子	産科婦人科	380万円	日本学術振興会 補委
萌芽研究 子宮体癌発癌機構におけるRas/エストロゲン経路の果たす役割—癌幹細胞の観点か	加藤 聖子	産科婦人科	130万円	日本学術振興会 補委
若手研究(B) 転写因子SRFを中心とするマウス栄養膜細胞新たな分化調節機構の解明	浅野間 和夫	産科婦人科	180万円	日本学術振興会 補委
基盤研究B ヒト胎児の学習能を用いた中枢神経系機能評価方法の開発と応用	中野 仁雄	産科婦人科	429万円	日本学術振興会 補委
ヒト化モデルマウスを用いた次世代遺伝子治療法の開発:遺伝子修復による自己細胞再生	原 寿郎	小児科	689万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
新しいヒト化疾患モデルマウスを用いたナノ遺伝子修復治療法の開発	原 寿郎	小児科	160万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
分類不能型低ガンマグロブリン血症の病態・原因の解明	高田 英俊	小児科	221万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
熱性けいれん病態関連分子の網羅的解析と関連解析による疾患感受性遺伝子の同定	吉龍太郎	小児科	221万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
劇症型A群レンサ球菌感染症の発症メカニズムの解明	齋藤 光正	小児科	117万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
急性散在性脳脊髄炎における分子遺伝学的病態解析	鳥巣 浩幸	小児科	130万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
アポトーシス関連分子およびサイトカインの包括的検討による小児悪性腫瘍の病態解析	古賀 友紀	小児科	200万円	文部科学省科学研究費補助金 補委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
川崎病モデルマウスを用いた動脈炎発症・進展における遺伝子治療に関する研究	宗内 淳	小児科	180万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
PD-1経路と小児1型糖尿病:疾患感受性と遺伝子発現解析	堤 康	小児科	180万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
サルモネラ感染症発症の病態および関連する宿主遺伝要因の解明	保科 隆之	小児科	180万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
早産児・極低出生体重児の出生時高サイトカイン血症が発達に及ぼす影響の検討	金城 唯宗	小児科	100万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
熱性けいれんの病態解析と疾患感受性遺伝子の同定	田中 珠美	小児科	170万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
日本人におけるBCG副反応および抗酸菌易感染性に関連する宿主遺伝要因の探索	佐々木 由佳	小児科	273万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
気体プラズマを用いた新たな遺伝子治療法の開発	馬場 晴久	小児科	156万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
新生児慢性肺疾患の重症度の早期診断に関する研究	金城 唯宗	小児科	234万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
IPMNパラフィン包埋組織のmRNA定量解析と機能解析－IPMN治療の新機軸確立	永井 英司	第一外科	234万円	補委 日本学術振興会
Cancer stem cellを標的とした次世代乳癌治療法の開発	久保 真	第一外科	156万円	補委 日本学術振興会
膵癌におけるマイクロRNAの発現と機能解析	高畑 俊一	第一外科	247万円	補委 日本学術振興会
膵癌早期診断および治療法開発を目的とした新規マーカーの同定	佐藤 典宏	第一外科	598万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
Cancer stem cell 恒常性維持機構制御による次世代癌治療法の実用化	中村雅史	第一外科	156万円	補委 日本学術振興会
内分泌シグナル系と形態形成シグナル系のクロストークを応用した乳癌治療法開発	小島 雅之	第一外科	364万円	補委 日本学術振興会
健常人樹状細胞由来エキソソームを応用した標準化樹状細胞ワクチン療法の開発	森崎 隆	第一外科	130万円	補委 日本学術振興会
ホルモン補充療法の大腸癌抑制作用におけるMPAシグナルの機構解明	壬生 隆一	第一外科	182万円	補委 日本学術振興会
高速マイクロダイセクションによる膵癌遺伝子診断とナノテクノロジーによる治療予測	水元 一博	第一外科	533万円	補委 日本学術振興会
膵癌幹細胞の同定とニッチの機能解析～膵癌の治療抵抗性を克服するために	水元 一博	第一外科	170万円	補委 日本学術振興会

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
ラット臍脾合併移植における、制御性T細胞を用いたドナー特異的免疫寛容の誘導	杉谷 篤	第一外科	286万円	補委 日本学術振興会
放射線治療による腫瘍浸潤能促進作用の分子標的による制御	大内田 研宙	第一外科	50万円	補委 井上科学振興財団 研究奨励金
腫瘍幹細胞とニッチの同定	大内田 研宙	第一外科	200万円	補委 武田科学振興財団 医学系研究奨励金
発癌予防のための形態形成シグナル系抑制ペプチドワクチンの開発	中村 雅史	第一外科	150万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
候補遺伝子アプローチによるIPMN感受性遺伝子のGENE-BASED相関検定	田中 雅夫	第一外科	170万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
ナノデバイスを利用したNK4によるテラーメイド腫瘍遺伝子治療	田中 雅夫	第一外科	871万円	補委 日本学術振興会
超高速インターネットを利用したアジアにおける医療ネットワーク拠点の形成	田中 雅夫	第一外科	800万円	補委 九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト
形態形成シグナル系のクロストークを利用した大腸癌治療法の開発	能城 浩和	第一外科	117万円	補委 日本学術振興会
臓器特異的癌制御法開発のための形態形成シグナル系の網羅的解析	片野 光男	第一外科	1,313万円	補委 日本学術振興会
蛋白質導入法による臍腎移植での虚血再灌流障害軽減に関する基礎実験	北田 秀久	第一外科	170万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	田中 雅夫	第一外科	60万円	補委 厚生労働省科学研究費補助金
肝硬変症における肝内微小循環障害の分子機序解明と肝機能改善のための新規治療の開発	前原 喜彦	第二外科	1,183万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
乳癌における細胞運動調節機構の分子機序解明と新規治療への応用	定永 優明	第二外科	208万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
EGFRリガンド阻害剤による低分化型胃癌に対する新しい治療法の開発	沖 英次	第二外科	221万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
肺切除後における肺再生機構の解明	庄司 文裕	第二外科	140万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
調節性T細胞の制御による新しい肝移植後肝癌再発予防の開発	吉住 朋晴	第二外科	286万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
原発性肝癌における転移・浸潤能の獲得に係わる上皮一間葉移行の分子機構の解明	杉町 圭史	第二外科	133万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
大腸癌におけるmtDNA配列異常の抗癌剤感受性に及ぼす影響とその分子機序の解明	大垣 吉平	第二外科	132万円	補委 文部科学省科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
自家軟骨細胞と β -TCPを用いた骨軟骨複合組織の作成と変形性関節症の治療への応用に関する研究	松田 秀一	整形外科	700万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤C 補委
Image based box trainingを用いた効率的な関節鏡手術トレーニングシステムの開発	三浦 裕正	整形外科	50万円	内視鏡医学振興財団研究助成 補委
インテリジェント化された膝多自由度駆動・センシングシステムによる装具・サポートやテーピング技術の有効性評価と治療支	三浦 裕正	整形外科	400万円	日本運動器リハビリテーション学術プロジェクト 補委
関節鏡Image Based Boxトレーニングシステムの実証試験	三浦 裕正	整形外科	400万円	ST実証試験研究助成 補委
脳血管攣縮におけるPAR-1の機能解析、および新規G蛋白共役受容体の検索	佐々木 富男	脳神経外科	380万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
脳腫瘍幹細胞におけるmicroRNA発現とシグナル伝達異常	溝口 昌弘	脳神経外科	360万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
髓芽種におけるSOX4遺伝子の発現意義と治療への応用	庄野 穎久	脳神経外科	70万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
骨髄由来幹細胞が有する脳腫瘍へのtropismに関する検討	吉本 幸司	脳神経外科	50万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
グリオーマの浸潤制御による新たな治療法の開発	松本 健一	脳神経外科	120万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
グリオーマにおけるp53 リン酸化と標的遺伝子の選択性に関する検討	天野 敏之	脳神経外科	120万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
細胞周期調節因子p 27制御による心筋細胞増殖の試み:臨床応用に向けた基礎的研究	富永 隆治	心臓外科	533万円	文部科学省科学研究費補助金(基盤研究B) 補委
薬剤誘導性免疫寛容系の基礎的展開と臨床への応用	富田 幸裕	心臓外科	871万円	文部科学省科学研究費補助金(基盤研究B) 補委
ナノ・ドラッグデリバリーシステムを用いた静脈グラフト不全に対する新しい治療戦略	塩瀬 明	心臓外科	195万円	文部科学省科学研究費補助金(基盤研究C) 補委
24時間心保存におけるRho-Kinase inhibitorの心保護作用	江藤 政尚	心臓外科	230万円	文部科学省科学研究費補助金(若手研究B) 補委
抑制性T細胞の同種心移植における有用性の検討	清水 一郎	心臓外科	133万円	文部科学省科学研究費補助金(若手スタート) 補委
小腸移植におけるミニ移植を応用した大動物の免疫寛容誘導に関する研究	田口 智章	小児外科	340万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究B 補委
小腸移植における血管茎付き胸腺移植による大動物の免疫寛容誘導に関する研究	田口 智章	小児外科	160万円	文部科学省科学研究費補助金 萌芽研究 補委
小児固形悪性腫瘍に対する新規ベクターを用いた樹状細胞免疫遺伝子治療開発	田尻 達郎	小児外科	130万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C 補委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
先天性横隔膜ヘルニアの新しい胎児治療戦略-細胞外マトリックス代謝の観点から-	増本 幸二	小児外科	180万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C 補委
ウイルムス腫瘍の新規血清腫瘍マーカーとしてのGlypican3の有用性の検討	木下 義晶	小児外科	140万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C 補委
ミニ移植による免疫寛容誘導とキメリズム作成に関する研究	西本祐子	小児外科	160万円	文部科学省科学研究費 若手研究B 補委
先天性横隔膜ヘルニアラットモデルにおける胎児麻酔の効果に関する研究	上杉 達	小児外科	90万円	文部科学省科学研究費補助金 若手研究B 補委
炎症性サイトカインが消化管運動に与える影響に関する研究	秋吉 潤子	小児外科	130万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C 補委
難治性小児固形悪性腫瘍に対する新規ペクターを用いた免疫遺伝子治療の開発	田尻 達郎	小児外科	4,500万円	文部科学省特別教育研究費 補委
熱媒体の人体影響とその治療法に関する研究	古江 増隆	皮膚科	21,820万円	厚生労働省科学研究費補助金 補委
アトピー性皮膚炎の症状の制御および治療法の普及に関する研究	古江 増隆	皮膚科	5,070万円	厚生労働省科学研究費補助金 補委
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	師井 洋一	皮膚科	380万円	厚生労働省科学研究費補助金 補委
搔爬行動のアレルギー性皮膚炎形成に及ぼす影響とその要因の探索	竹内 聰	皮膚科	25万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	内藤 誠二	泌尿器科	27,499万円	厚生労働省科学研究費補助金がん臨床研究事業 補委
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	内藤 誠二	泌尿器科	14,562万円	厚生労働省科学研究費補助金臨床研究整備推進研究事 補委
マウス腎癌ミニ移植モデルにおけるメカニズムの解析と抗腫瘍効果の増強に向けた検討	江藤 正俊	泌尿器科	247万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
腎細胞癌に対するインターフェロンの作用とインターフェロン+樹状細胞療法の検討	立神 勝則	泌尿器科	221万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
膀胱がんの診断におけるNBI (Narrow Band Imaging)補助下膀胱鏡の有用性の検討	立神 勝則	泌尿器科	50万円	財団法人内視鏡医学研究振興財团平成19年度研究助成 補委
限局性前立腺癌の発生部位(腹側/背側)による臨床病理学的相違と臨床摘意義について	黒岩 顕太郎	泌尿器科	80万円	財団法人医療・介護・教育研究財团第3回ふくおか「臨床医 補委
3次元培養を用いた前立腺癌新規バイオマーカーの検索	角田 俊之	泌尿器科	210万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
前立腺間質、正常上皮および癌細胞間のネットワーク構成の比較-前立腺癌ファーレドエフェクトの解析-	角田 俊之	泌尿器科	50万円	財団法人前立腺研究財团平成19年度「研究助成」 補委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
シクロホスファミドを用いたマウスのミニ移植モデルにおける制御性T細胞の動態	濱口 益光	泌尿器科	30万円	○ 財団法人福岡県対がん協会平成19年度がん研究助成金 補委
双極性障害における脳内報酬回路の機能障害の解明:基礎的および臨床的研究の統合	神庭 重信	精神科神経科	533万円	○ 文部科学省科学研究費補助金 補委
幼年期の心理的ストレスが向精神薬の反応性に与える影響の薬理学的基礎の解明	黒木 俊秀	精神科神経科	91万円	○ 文部科学省科学研究費補助金 補委
中枢神経炎症調整薬としての非定型抗精神病薬の役割に関する研究	門司 晃	精神科神経科	195万円	○ 文部科学省科学研究費補助金 補委
Functional MRI による社会不安障害の脳機能研究	中尾 智博	精神科神経科	70万円	○ 文部科学省科学研究費補助金 補委
自殺関連うつ対策戦略研究	神庭 重信	精神科神経科	20,000万円	○ 厚生労働省科学研究費補助金 補委
双極性障害の神経生理・画像・分子遺伝学的研究	神庭 重信	精神科神経科	700万円	○ 厚生労働省科学研究費補助金 補委
子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究	吉田 敬子	精神科神経科	3,900万円	○ 厚生労働省科学研究費補助金 補委
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究17指-5	神庭 重信	精神科神経科	2,000万円	○ 精神・神経疾患研究委託費 補委
児童思春期強迫性障害(OCD)の実態の解明と診断・治療法の標準化に関する研究17指-2	神庭 重信	精神科神経科	70万円	○ 精神・神経疾患研究委託費 補委
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究18指-7	神庭 重信	精神科神経科	43万円	○ 精神・神経疾患研究委託費 補委
気分障害の治療システム開発と検証に関する研究17指-5	黒木 俊秀	精神科神経科	100万円	○ 精神・神経疾患研究委託費 補委
強迫性障害および関連情動障害の治療効果判定における機能的脳画像技術の応用に関する研究 17公-2	黒木 俊秀	精神科神経科	120万円	○ 精神・神経疾患研究委託費 補委
糖尿病網膜症に伴う増殖組織の発症進展因子に関するゲノム医科学、疫学的研究	石橋 達朗	眼科	1,274万円	○ 日本学術振興会 補委
脈絡膜新生血管病における自然免疫細胞群の関与とその治療への応用	園田 康平	眼科	572万円	○ 日本学術振興会 補委
酵素を用いたケミカルビトレクトミーの基礎および臨床研究	望月 泰敬	眼科	120万円	○ 日本学術振興会 補委
日本人に適した遺伝性眼疾患の系統的な迅速ゲノム診断法の構築	吉田 茂生	眼科	208万円	○ 日本学術振興会 補委
新規遺伝子導入ベクター構築を用いた加齢黄斑変性の治療法開発	宮崎 勝徳	眼科	170万円	○ 日本学術振興会 補委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
新規眼科手術補助剤のあたらしい可能性の検討とその臨床応用	江内田 寛	眼科	182万円	日本学術振興会 補委
増殖性網膜硝子体疾患の病態解明ならびに新規治療薬開発	畠 快右	眼科	234万円	日本学術振興会 補委
蝸牛有牛細胞の感覚毛能動運動による音伝達機構増幅のメカニズム	君付 隆	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	338万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
SCCA1蛋白の新規ターゲットプロテアーゼ同定と頭頸部癌細胞での役割に関する研究	安松 隆治	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	220万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
超高速ビデオ解析による内耳外有毛細胞におけるマイクロ秒単位の運動能制御機構の解説	松本 希	耳鼻咽喉科 頭頸部外科	110万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
大腿骨頭の局所血流量を評価する新たな磁気共鳴パラメータ開発	本田 浩	放射線科	110万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
切除可能中等度進行食道癌の治療、食道切除か根治的化学放射線治療か:多施設研究	本田 浩	放射線科	5万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
MR計算画像T2*及びT2mapによる生体肝内鉄の非侵襲的評価とその臨床応用	吉満 研吾	放射線科	208万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
心筋収縮能に関連する新たな磁気共鳴パラメータの開発	畠中 正光	放射線科	130万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
高精細3次元CT画像を用いた胃癌内視鏡的粘膜切除術における穿孔防止法の開発	宇都宮 尚	放射線科	221万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
造影ダイナミック、拡散、スペクトロスコピー磁気共鳴を用いた乳癌予後予測所見の研究	藪内 英剛	放射線科	130万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
拡散テンソルMRIを用いた脳内ネットワークイメージング法の開発とその臨床応用	吉浦 敬	放射線科	104万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
PETを用いたエストロゲン受容体陽性腫瘍の治療個別化に関する研究	金子 恒一郎	放射線科	156万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
肺癌定位照射の肺毒性とその生物学的および物理学的先行指標に関する研究	塩山 善之	放射線科	117万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
定位放射線治療による予後改善に関する研究	塩山 善之	放射線科	50万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
フッ素18標識アミノ酸製剤による新しい悪性腫瘍診断法の開発	阿部 光一郎	放射線科	104万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
MRIアーテリアル・スピノ・ラベリング(ASL)法による実用的脳循環評価法の確立	野口 智幸	放射線科	70万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
血管内皮細胞を標的とした放射線増感剤としてのL-アルギニンの至適投与法の研究	平川 雅和	放射線科	230万円	文部科学省科学研究費補助金 補委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
経皮的椎体形成術の治療効果と続発性骨折の予後因子の解明	樋渡 昭雄	放射線科	170万円	文部科学省科学研究費補助金
経皮的椎体形成術の術前画像評価および予後に関する研究	樋渡 昭雄	放射線科	100万円	学会研究助成金(日本医学放射線学会)
神経因性疼痛にミクログリアの活性酸素生成能・貪食はどうかかわるのか	野田 祐紀子	麻酔科蘇生科	194万円	文部科学省科学研究費補助金
移植対象臓器血管に対する周術期薬物の直接作用に関する研究	赤田 隆	麻酔科蘇生科	104万円	日本学術振興会科学研究費
ミトコンドリアDNAの異常発生機構解析に基づいた体系的診断システムの構築	康 東天	検査部	2,030万円	文部科学省科学研究費補助金
体細胞ミトコンドリアゲノム遺伝情報の維持とその表現:老化と疾患	康 東天	検査部	500万円	独立行政法人日本学術振興会
増殖性疾患でのCSD蛋白の発現と分子間ネットワーク	内海 健	検査部	182万円	文部科学省科学研究費補助金
血中シアロ糖タンパクと病態との関連性に関する研究 一病態シアロームの提唱一	青木 義政	検査部	180万円	文部科学省科学研究費補助金
萌芽研究 上皮性肉腫の細胞形態・予後ににおける細胞膜糖蛋白Dysadherinの役割	恒吉 正澄	病理部	50万円	文部科学省科学研究費補助金
基盤研究(C)(2) 悪性骨軟部腫瘍の転移におけるケモカインレセプターおよび血管新生の関与	小田義直	病理部	100万円	文部科学省科学研究費補助金
骨軟部腫瘍に対する重粒子線治療	恒吉 正澄	病理部	20万円	重粒子線がん治療臨床研究班
若手研究(B) 胃腸管間質腫瘍における血管新生と新しい分子標的治療への応用	山元 英崇	病理部	150万円	文部科学省科学研究費補助金
大腸がん肝転移の予知ならびに予防的治療に関する研究	八尾 隆史	病理部	150万円	厚生労働省がん研究助成金
造血システムにおける腫瘍性幹細胞およびその悪性化に関する遺伝子の同定	赤司 浩一	遺伝子・細胞療法部	1,320万円	文部科学省科学研究費補助金
幹細胞制御に関わるマイクロRNAのプロスペクティブな分離・同定法の開発	赤司 浩一	遺伝子・細胞療法部	170万円	文部科学省科学研究費補助金
癌幹細胞の分離と機能解析	赤司 浩一	遺伝子・細胞療法部	130万円	厚生労働省がん研究助成金
頸動脈エコーからみた動脈硬化症の疫学的研究	林 純	総合診療部	150万円	公益信託日本動脈硬化予防研究基金研究助成事務局
肝炎ウイルス感染の肝外病変の基礎的及び臨床的包括研究	林 純	総合診療部	600万円	厚生労働省肝炎等克服緊急対策研究事業

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
21COE大規模コホートに基づく生活習慣病研究教育	林 純	総合診療部	950万円	補委 平成18年度研究拠点形成補助金
小腸移植におけるミニ移植を応用した大動物の免疫寛容誘導に関する研究	田口 智章	総合周産期母子医療センター	340万円	補委 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究B
小腸移植における血管茎付き胸腺移植による大動物の免疫寛容誘導に関する研究	田口 智章	総合周産期母子医療センター	160万円	補委 文部科学省科学研究費補助金 萌芽研究
先天性横隔膜ヘルニアの新しい胎児治療戦略-細胞外マトリックス代謝の観点から-	増本 幸二	総合周産期母子医療センター	180万円	補委 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C
ミニ移植による免疫寛容誘導とキメリズム作成に関する研究	西本 祐子	総合周産期母子医療センター	160万円	補委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究B
先天性横隔膜ヘルニアラットモデルにおける胎児麻酔の効果に関する研究	上杉 達	総合周産期母子医療センター	90万円	補委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究B
基盤研究(C)好中球による酸化ストレスからみた妊娠高血圧症候群の病態形成過程	月森 清巳	総合周産期母子医療センター	195万円	補委 日本学術振興会
基盤研究(C)子宮内トポロジーからみた胎児由来寡能性細胞トロホブラストの血管内皮様分化調節機構	福嶋 恒太郎	総合周産期母子医療センター	195万円	補委 日本学術振興会
若手研究(B)出生前脳室周囲白室軟化症の早期診断および胎児治療法の確立	吉村 宜純	総合周産期母子医療センター	160万円	補委 日本学術振興会
若手研究(B)胎児麻酔を用いた先天性横隔膜ヘルニアに対する治療戦略の確立	北條 哲史	総合周産期母子医療センター	90万円	補委 日本学術振興会
萌芽ハイリスク妊娠症例における胎児中枢神経系機能評価の前方視的検討	諸隈 誠一	総合周産期母子医療センター	130万円	補委 日本学術振興会
慢性活動性EBウイルス感染症の感染細胞特性と治療に関する研究	大賀 正一	総合周産期母子医療センター	260万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
造血幹細胞への遺伝子導入による遺伝性好中球減少・機能不全に対する遺伝子治療	井原 健二	総合周産期母子医療センター	143万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
21世紀ロボットチャレンジプログラム「リハビリ支援型ロボット及び実用化技術の開発」	岩本幸英, 橋爪 誠, 高杉 純一郎	リハビリテーション部	2,961万円	補委 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
ユーザー快適性を重視した次世代超軽量車椅子の開発・実用化研究	岩本幸英, 村上輝夫, 高杉 純一郎	リハビリテーション部	50万円	補委 財団法人 テクノエイド協会
長時間他動運動による前頭前野の活性化について	上島 隆秀	リハビリテーション部	46万円	補委 日本学術振興会 科学研究費
炎症性腸疾患患者の各種治療後における表面マーカーおよびケモカイン発現の検討	矢田 親一朗	光学医療診療部	91万円	補委 文部科学省科学研究費補助金
「インテリジェント手術機器研究開発プロジェクト」	橋爪 誠	先端医工学診療部	17,250万円	補委 経済産業省

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
「多次元医用画像誘導による内視鏡下手術支援システムの開発」	掛地 吉弘	先端医工学 診療部	1,480万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究B 補委
「世界戦略的ロボット手術研究教育拠点作成のための教育モデルの確立」	川中 博文	先端医工学 診療部	1,480万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究B 補委
「超低侵襲消化器癌治療を実現する内視鏡ロボットシステムの開発」	橋爪 誠	先端医工学 診療部	3,640万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究A 補委
「内視鏡外科手術における医療安全水準の向上を目指した教育・訓練システムの確立」	田上 和夫	先端医工学 診療部	460万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C 補委
レプチノン(代謝調節ホルモン)と歯の萌出期の顎骨リモデリング	中村 由紀	小児歯科	132万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
エナメルマトリックス蛋白質による血管新生とその制御に関する研究	藤田 裕美子	小児歯科	132万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
新規細胞-細胞間蛋白質の象牙芽細胞分化における機能解析	岩本 勉	小児歯科	30万円	財団法人 富徳会 補委
矯正的歯の移動時の歯根吸収に対する全身的炎症疾患の影響	五百井 秀樹	矯正歯科	70万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
MRIを用いた顎顔面形態と口腔機能の四次元解析システムの開発	寺嶋 雅彦	矯正歯科	100万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
三次元頭部CT画像を用いた顎口腔機能4次元表示システムの構築	中島 昭彦	矯正歯科	1,120万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
インターネットで送受信する頭部三次元形態画像と顎運動の遠隔分析・診断システム	中島 昭彦	矯正歯科	230万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
包括的三次元鼻腔咽頭気道モデルの構築および顎変形症患者への応用	星野 慶弘	矯正歯科	280万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
包括的三次元鼻腔咽頭気道モデルの構築および顎変形症患者への応用	村上 純子	矯正歯科	200万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
ヒト歯根膜前駆細胞クローン株を用いた歯根膜組織再生機構の解明	前田 英史	歯内治療科	1,118万円	日本学術振興会 補委
接着システムを応用した歯質保存的(MI)修復法の有効性に関する医療経済学的検討	畦森 雅子	歯内治療科	234万円	日本学術振興会 補委
in vivo実験系を用いた歯周組織再生を促進する因子の同定	後藤 康治	歯内治療科	210万円	日本学術振興会 補委
歯髄・根尖部歯周組織の創傷治癒メカニズムの解明と再生療法への応用	吉嶺 嘉人	歯内治療科	1,677万円	日本学術振興会 補委
歯根膜再生の鍵を握る細胞とその必須の因子は何か?	赤峰 昭文	歯内治療科	351万円	日本学術振興会 補委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
ヒト歯根膜組織幹細胞株の分化メカニズムの解明	藤井 慎介	歯内治療科	132万円	日本学術振興会 補委
熱媒体の人体影響とその治療等に関する研究	赤峰 昭文	歯内治療科	100万円	厚生労働省 補委
生体反応を考慮したプラキシズムの新規治療プロトコールの提案	市来 利香	義歯補綴科	195万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
咀嚼機能の多軸評価に基づく補綴歯科治療の効果判定ツールの開発	築山 能大	義歯補綴科	170万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
埋入トルク値に基づくインプラント補綴治療の新しいプロトコールの展開	木原 優文	義歯補綴科	210万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
任意形態付与が可能な炭酸アパタイト骨補填材の創製	鈴木 裕美子	義歯補綴科	220万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
ドッグデリバリーシステムを用いた新規骨再生法の開発とその細胞内メカニズムの解明	古谷野 潔	義歯補綴科	430万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
functional MRIを用いた摂食機能の高次脳活動賦活化に関する研究	松山 美和	義歯補綴科	70万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
紅麹エキスを用いた新規骨形成法に関する研究	鮎川 保則	義歯補綴科	150万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
培養エナメル芽細胞を用いたエナメル質の再生と臨床応用	篠原 義憲	咬合補綴科	170万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
エリス・ファン・クレフェルト症候群の原因遺伝子の解明	菊田 るみこ	顎口腔外科	180万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
抗腫瘍T細胞の活性化あるいは不活性に関わる扁平上皮癌関連抗原の解析	中村 誠司	顎口腔外科	50万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
ドライマウスの分類および診断基準の確立～唾液を用いた新しい診断方法について	中村 誠司	顎口腔外科	130万円	文部科学省科学研究費補助金 研究基盤B 補委
遊離組織移植の生着率向上のための血管吻合手技と管理法の確立	笹栗 正明	顎口腔外科	312万円	文部科学省科学研究費補助金 研究基盤B 補委
終末部唾液腺幹細胞の分化能を利用した唾液腺再生医療の開発	白砂 兼光	顔面口腔外科	160万円	日本学術振興会科学研究費補助金 補委
おとり遺伝子を用いた純国産戦略による多剤耐性癌への抗癌剤治療法の応用	竹之下 康治	顔面口腔外科	370万円	日本学術振興会科学研究費補助金 補委
おとり遺伝子を用いた変形性関節症への新遺伝子治療法の展開	竹之下 康治	顔面口腔外科	100万円	日本学術振興会科学研究費補助金 補委
RNA干渉を応用した顎骨の炎症性骨破壊病変に対する新規治療法の開発	窪田 泰孝	顔面口腔外科	120万円	日本学術振興会科学研究費補助金 補委

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
4回膜貫通蛋白質テトラスパニンの癌転移抑制機構を利用した新規口腔癌治療法の開発	杉浦 剛	顔面口腔外科	380万円	日本学術振興会科学研究費補助金 補委
シェーグレン症候群患者の唾液腺における唾液分泌異常の解明	大山 順子	顔面口腔外科	120万円	日本学術振興会科学研究費補助金 補委
骨再生機序解明への新しい戦略—高気圧酸素負荷環境下における骨代謝について—	佐々木 匡理	顔面口腔外科	110万円	日本学術振興会科学研究費補助金 補委
血管新生抑制を標的としたおとり遺伝子導入による癌遺伝子治療法の開発	藏原 慎一	顔面口腔外科	150万円	日本学術振興会科学研究費補助金 補委
歯原性腫瘍の病態解析および局所注入療法の開発	二宮 史浩	顔面口腔外科	120万円	日本学術振興会科学研究費補助金 補委
改良型cDNAライプラリー法を用いた癌関連抗原の同定と腫瘍免疫療法	熊丸 渉	顔面口腔外科	130万円	日本学術振興会科学研究費補助金 補委
基底細胞母斑症候群の原因および関連遺伝子の解明	岡 正司	顔面口腔外科	133万円	日本学術振興会科学研究費補助金 補委
造影MRIを用いた頭頸部kinetic analysisの試み	吉浦 一紀	口腔画像診断科	143万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C 補委
fMRIによる咀嚼機能と脳機能のダイナミック解析システムの開発	後藤 多津子	口腔画像診断科	533万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究B 補委
実用型口内法X線撮影シミュレーションシステムの開発	岡村 和俊	口腔画像診断科	120万円	文部科学省科学研究費補助金 基盤研究B 補委
粘性体や弾性体を用いた歯牙欠損補綴患者および顎関節症患者の硬さ識別能の評価	王丸 寛美	口腔総合診療科	250万円	文部科学省科学研究費補助金 補委
歯科治療におけるコンポジットレジン修復の臨床成績に及ぼす諸因子の影響	松家洋子、角義久、王丸寛美、和田尚久	口腔総合診療科	80万円	第2回 ふくおか「臨床医学研究賞」助成 補委

計 263 件

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Nat Biotechnol 2007 Oct	Chemotherapy-resistant human AML stem cells home to and engraft within the bone-marrow endosteal region	Ishikawa F et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Oncogene 2007 Oct	Hematopoietic developmental pathways: on cellular basis.	Iwasaki H et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
EMBO J 2007 Sep	The Kruppel-like factor KLF4 is a critical regulator of monocyte differentiation.	Feinberg MW et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Blood 2007 Nov	The developmental program of human dendritic cells is operated independently of conventional myeloid and lymphoid pathways	Ishikawa F et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Immunity 2007 Jun	Myeloid lineage commitment from the hematopoietic stem cell.	Iwasaki H et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Science 2007 May	Regulation of B versus T lymphoid lineage fate decision by the proto-oncogene LRF	Maeda T et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Proc Natl Acad Sci USA 2007 Apr	Ott1(Rbm15) has pleiotropic roles in hematopoietic development	Raffel GD et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
J Exp Med 2007 Feb	Dendritic cell expression of the transcription factor T-bet regulates mast cell progenitor homing to mucosal tissue.	Alcaide P et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
The Journal of Immunology 2007;179:3315-24	Peripheral Tolerance and the Qualitative Characteristics of Autoreactive T Cell Clones in Primary Biliary Cirrhosis	Shimoda S et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Med Oncol. 2007;24(2):259-264	Infusional 5-fluorouracil and cisplatin as first-line chemotherapy in patients with carcinoma of unknown primary site.	Kusaba H et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Annals of Rheumatic Diseases 66:320-324,2007	A functional M196R polymorphism of tumor necrosis factor receptor type2 is associated with systemic lupus erythematosus :A case-control study and a meta analysis.	Horiuchi T et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Annals of Rheumatic Diseases 66:905-909,2007	Genetic variations of Toll like receptor 9 predispose to systemic lupus erythematosus in Japanese population	Horiuchi T et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Arthritis Rheum 2007 May	Protection against autoimmune nephritis in MyD88-deficient MRL/lpr mice.	Sadanaga A, et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Fukuoka Igaku Zasshi 2007 Apr	Local cytomegalovirus infection in patients with diarrhea following allogeneic stem cell transplantation.	Ninomiya I, et al.	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Bone Marrow Transplantation. 39(9):523-527, 2007	Rituximab does not compromise the mobilization and engraftment of autologous peripheral blood stem cells in diffuse-large B-cell lymphoma.	Kamezaki K,Nonami A,Takenaka K,Nagafuji K et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Eur J Haematol. 79 (1): 17-24, 2007	Distinctive expression of myelomonocytic markers and down-regulation of CD34 in acute myelogenous leukaemia with FLT3 tandem duplication and nucleophosmin mutation	Kumano T,Takenaka K,Nagafuji K,et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Haematologica. 92 (7): 978–981, 2007	Perforin gene mutations in adult-onset hemophagocytic lymphohistiocytosis	Nagafuji K,Kumano T, Takenaka K,et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
International Journal of Hematology. 86(3): 261–268, 2007	Individual dose adjustment of oral busulfan using a test dose in hematopoietic stem cell transplantation.	Eto T, Nagafuji K,et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Nature Biotechnology. 25(11):1315–1321, 2007	Chemotherapy-resistant human AML stem cells home to and engraft within the bone-marrow endosteal region.	Yoshida S, Saito Y,Saito N,Fukata M,et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
International Journal of Hematology. 85(4):338–343, 2007	The effect of anabolic steroids on anemia in myelofibrosis with myeloid metaplasia: retrospective analysis of 39 patients in Japan	Shide K,Kamezaki K, Harada N,et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Nature Immunology. 8(12):1313–1323, 2007	Polymorphism in Sirpa modulates engraftment of human hematopoietic stem cells	Takenaka K, Prasolava TK, Wang JC,et al	血液・腫瘍内科 免疫・膠原病・感染症内科
Gastrointestinal Endoscopy 66: 957–965, 2007	Magnifying colonoscopy with narrow band imaging system for the diagnosis of dysplasia in ulcerative colitis: a pilot study.	Takayuki Matsumoto	消化管内科
Digestive Endoscopy 19(Suppl.1): S139–S144, 2007	Autofluorescence imaging colonoscopy in ulcerative colitis: comparison with conventional and narrow-band imaging colonoscopy.	Takayuki Matsumoto	消化管内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gut 56: 1358-1363, 2007	Clinical impact of genetic aberrations in gastric MALT lymphoma: a comprehensive analysis using interphase fluorescence in situ hybridisation.	Shotaro Nakamura	消化管内科
Endoscopy 39: 41-45, 2007	Risk factors for local recurrence of superficial esophageal cancer after treatment by endoscopic mucosal resection.	Motohiro Esaki	消化管内科
Journal of Cerebral Blood Flow & Metabolism 27: 1152-1160, 2007	Postischemic gene transfer of soluble Flt-1 protects against brain ischemia with marked attenuation of blood-brain barrier permeability.	Yasuhiro Kumai	腎・高血圧・脳血管内科
DNA Repair 6: 760-769, 2007	Accumulation of 8-oxo-deoxyguanosine in cardiovascular tissues with the development of hypertension.	Toshio Ohtsubo	腎・高血圧・脳血管内科
Neuroscience Letters 416: 12-16, 2007	Hydrogen peroxide-induced Ca^{2+} responses in CNS pericytes.	Masahiro Kamouchi	腎・高血圧・脳血管内科
Experimental and Clinical Endocrinology & Diabetes 115: 444-447, 2007	Altered postural regulation of foot skin oxygenation and blood flow in patients with type 2 diabetes mellitus.	Masanori Iwase	腎・高血圧・脳血管内科
J Mol Endocrinol 39: 343-350, 2007	Steroidogenic factor 1/adrenal 4 binding protein transforms human bone marrow mesenchymal cells into steroidogenic cells	Tanaka T et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endocr J. 54: 153-62, 2007	Changes in serum sex hormone profiles after short-term low-dose administration of dehydroepiandrosterone (DHEA) to young and elderly persons.	Yamada Y et al	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科
Gastroenterology 134: 447-458, 2008.	A critical role of CD30 ligand/CD30 in controlling inflammatory bowel diseases in mice.	Sun X et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科
Eur J Haematol. 79: 114-25	Mortalin is a novel mediator of erythropoietin signaling.	Ohtsuka R et al.	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科
J Gastroenterology 2007;42:291-297	Pancreatic diabetes in a follow-up survey of chronic pancreatitis in Japan	Ito T	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・脾臓・胆道内科
European journal of immunology. 37: 2744-52	.IL-15 exacerbates collagen-induced arthritis with an enhanced CD4+ T cell response to produce IL-17.	Yoshihara K, Yamada H, Hori A, Yajima T, Kubo C, Yoshikai Y.	心療内科
International Immunopharmacology. 7: 928-36,	In vivo treatment with a nonapeptide thymic hormone, facteur thymique serique (FTS), ameliorates chronic colitis induced by dextran sulphate sodium in mice.	Sun X, Yamada H, Yoshihara K, Awaya A, Yoshikai Y.	心療内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastroenterology. 134: 447-58,	A critical role of CD30 ligand/CD30 in controlling inflammatory bowel diseases in mice.	Sun X, Somada S, Shibata K, Muta H, Yamada H, Yoshihara K, Honda K, Nakamura K, Takayanagi R, Tani K, Podack ER, Yoshikai Y.	心療内科
アロマテラピー学雑誌.8: 21-27	情動視覚刺激ストレス負荷に対するアロマテラピーの効果-脳波を用いた検討	吉原一文、千田要一、須藤信行、久保千春	心療内科
Brain 130: 1206-1223,2007	Heterogeneity of aquaporin-4 autoimmunity and spinal cord lesions in multiple sclerosis in Japanese.	Matsuoka T	神経内科
Neuroimage 36: 1263-1276,2007	Age-related alterations of the functional interactions within the basal ganglia and cerebellar motor loops in vivo.	Taniwaki T	神経内科
J Neuroimmunol 184: 227-231, 2007	Helicobacter pylori is a potential protective factor against conventional type multiple sclerosis in the Japanese population.	Li W	神経内科
J Neuroimmunol 182: 232-235,2007	Increased IL-13-producing T cells in ALS: positive correlations with disease severity and progression rate.	Shi N	神経内科
Clin Neurophysiol 118:1198-1203,2007	Altered soleus responses to magnetic stimulation in pure cerebellar ataxia.	Kurokawa-Kuroda T	神経内科
Acta Neuropathol 114: 527-535,200	Endoplasmic reticulum stress in myotonic dystrophy type I muscle.	Ikezoe K	神経内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurol Sci 255: 1–6, 2007	A distinct subgroup of chronic inflammatory demyelinating disease with CNS demyelination and a favorable response to immunotherapy.	Pineda AAM	神経内科
J Neurosci Meth 159: 134–138, 2007	Intraneuronal amyloid • 42 enhanced by heating but counteracted by formic acid.	Ohyagi Y	神経内科
Neuroreport 18: 229–233, 2007	Repetitive transcranial magnetic stimulation alters optic flow perception.	Tashiro K	神経内科
Intern Med 46: 515–518, 2007	A case of slowly progressive distal muscular atrophy of bilateral upper limbs (O’ Sullivan–McLeod syndrome) partially alleviated by intravenous immunoglobulin therapy.	Kawano Y	神経内科
Cardiovasc Res. 2008 Mar 1;77(4):713–21. Epub 2007 Dec 7.	Modulation of the myocardial redox state by vagal nerve stimulation after experimental myocardial infarction.	Tsutsumi T, Ide T, Yamato M, Kudou W, Andou M, Hirooka Y, Utsumi H, Tsutsui H, Sunagawa K.	循環器内科
Hypertens Res. 2007 Oct;30(10):971–8.	Inhibition of balloon injury-induced neointimal formation by olmesartan and pravastatin in rats with insulin resistance.	Chen M, Ichiki T, Ohtsubo H, Imayama I, Inanaga K, Miyazaki R, Sunagawa K.	循環器内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc. 2007;2007:2396-9.	Simulation study on the effect of fiber loss to the compound action potential of a sural nerve.	Hayami T, Iramina K, Chen X, Sunagawa K.	循環器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2007 Dec;27(12):2563-8. Epub 2007 Sep 20.	Local delivery of anti-monocyte chemoattractant protein-1 by gene-eluting stents attenuates in-stent stenosis in rabbits and monkeys.	Egashira K, Nakano K, Ohtani K, Funakoshi K, Zhao G, Ihara Y, Koga J, Kimura S, Tominaga R, Sunagawa K.	循環器内科
J Mol Cell Cardiol. 2007 Oct;43(4):455-64. Epub 2007 Jul 21.	Upregulation of the ligand-RAGE pathway via the angiotensin II type I receptor is essential in the pathogenesis of diabetic atherosclerosis.	Ihara Y, Egashira K, Nakano K, Ohtani K, Kubo M, Koga J, Iwai M, Horiuchi M, Gang Z, Yamagishi S, Sunagawa K.	循環器内科
Coron Artery Dis. 2007 Aug;18(5):397-404.	Extracorporeal cardiac shock wave therapy improves left ventricular remodeling after acute myocardial infarction in pigs.	Uwatoku T, Ito K, Abe K, Oi K, Hizume T, Sunagawa K, Shimokawa H.	循環器内科
Int Heart J. 2007 May;48(3):287-302.	Percutaneous coronary arterial thrombectomy for acute myocardial infarction reduces no-reflow phenomenon and protects against left ventricular remodeling related to the proximal left anterior descending and right coronary artery.	Kishi T, Yamada A, Okamatsu S, Sunagawa K.	循環器内科
Nippon Rinsho. 2007 May 28;65 Suppl 5:34-8. Review. Japanese. No abstract available.	[Diuretics--character, mechanisms, indications, side effects]	Ide T, Sunagawa K.	循環器内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hypertension. 2007 Jul;50(1):62–8. Epub 2007 May 21.	Inhibition of Rac1-derived reactive oxygen species in nucleus tractus solitarius decreases blood pressure and heart rate in stroke-prone spontaneously hypertensive rats.	Nozoe M, Hirooka Y, Koga Y, Sagara Y, Kishi T, Engelhardt JF, Sunagawa K.	循環器内科
Nippon Rinsho. 2007 Apr 28;65 Suppl 4:238–42. Review. Japanese. No abstract available.	[ROS and disorder of mitochondrial DNA]	Ide T, Sunagawa K.	循環器内科
Atherosclerosis. 2008 Jan;196(1):172–9. Epub 2007 May 3.	Azelnidipine has anti-atherosclerotic effects independent of its blood pressure-lowering actions in monkeys and mice.	Nakano K, Egashira K, Ohtani K, Gang Z, Iwata E, Miyagawa M, Sunagawa K.	循環器内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2007 Jul;27(7):1549–55. Epub 2007 Apr 26.	Inducible cAMP early repressor inhibits growth of vascular smooth musclecell.	Ohtsubo H, Ichiki T, Miyazaki R, Inanaga K, Imayama I, Hashiguchi Y, Sadoshima J, Sunagawa K.	循環器内科
Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2007 Jul;293(1):H743–53. Epub 2007 Apr 6.	Tumor necrosis factor-alpha is toxic via receptor 1 and protective via receptor 2 in a murine model of myocardial infarction.	Monden Y, Kubota T, Inoue T, Tsutsumi T, Kawano S, Ide T, Tsutsui H, Sunagawa K.	循環器内科
Cardiovasc Res. 2007 Mar 1;73(4):794–805. Epub 2006 Dec 23.	Soluble TNF receptors prevent apoptosis in infiltrating cells and promote ventricular rupture and remodeling after myocardial infarction.	Monden Y, Kubota T, Tsutsumi T, Inoue T, Kawano S, Kawamura N, Ide T, Egashira K, Tsutsui H, Sunagawa K.	循環器内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hypertens. 2007 Feb;25(2):399–406.	Pressor response induced by central angiotensin II is mediated by activation of Rho/Rho-kinase pathway via AT1 receptors.	Sagara Y, Hirooka Y, Nozoe M, Ito K, Kimura Y, Sunagawa K.	循環器内科
Clin Exp Hypertens. 2007 Jan;29(1):13–21.	Long-acting calcium channel blocker, azelnidipine, increases endothelial nitric oxide synthase in the brain and inhibits sympathetic nerve activity.	Kimura Y, Hirooka Y, Sagara Y, Sunagawa K.	循環器内科
Atherosclerosis. 2007 Oct;194(2):309–16. Epub 2006 Nov 28.	Catheter-based adenovirus-mediated anti-monocyte chemoattractant gene Therapy attenuates in-stent neointima formation in cynomolgus monkeys.	Nakano K, Egashira K, Ohtani K, Zhao G, Funakoshi K, Ihara Y, Sunagawa K.	循環器内科
Journal of clinical pathology 2007 年 8 月	Gene transfer of soluble transforming growth factor type II receptor by in vivo electroporation attenuates lung injury and fibrosis.	山田瑞穂	呼吸器科
Journal of Infection and Chemotherapy. 2007 年 8 月	Successful treatment of refractory chronic necrotizing pulmonary aspergillosis with micafungin.	大内洋	呼吸器科
Anticancer Research. 2007 年 11 月	Immunohistochemical expression of MRP2 and clinical resistance to platinum-based chemotherapy in small cell lung cancer.	牛島里恵	呼吸器科
Respiration 2007 年 11 月	Effects of salmeterol in patients with persistent asthma receiving inhaled corticosteroid plus theophylline.	井上博雅	呼吸器科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pulmonary Pharmacology & Therapeutics. 2007年12月	Doxycycline attenuated lung injury by its biological effect apart from its antimicrobial function.	藤田昌樹	呼吸器科
Respirology 2008年1月	Phase II study of uracil-tegafur plus cisplatin in patients with previously untreated advanced non-small cell lung cancer.	高山浩一	呼吸器科
Expert Review of Obstetrics & Gynecology	Clinical significance of CXCR4 and CCR7 chemokine receptor expression in uterine cervical cancer	Sonoda K	産科婦人科
Human reproduction	Characterization of side population cells (SP cells) in human normal endometrial cells	Kato K	産科婦人科
Histopathology	Squamous cell carcinoma arising in mature cystic teratoma of the ovary: an immunohistochemical analysis of its tumorigenesis	Iwasa A	産科婦人科
Journal of Biological Chemistry	HOP/NECC1: A Novel Regulator of Mouse Trophoblast Differentiation.	Asanoma K	産科婦人科
Frontiers in Bioscience	Biologocal role of the unique molecule RCAS1: A bioactive marker that induces connective tissue remodeling and lymphocyte apoptosis.	Sonoda K	産科婦人科
Int J Immunogenet 34:35-44, 2007	Association of IL12RB1 polymorphisms with susceptibility to and severity of tuberculosis in Japanese: a gene-based association analysis of 21 candidate genes.	Kusuhara K, Yamamoto K, Okada K, Mizuno Y, Hara T	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Endocrinol 67:212-7, 2007	The Leu544Ile Polymorphism of the growth hormone receptor gene affects the serum cholesterol levels during GH treatment in children with GH deficiency.	Ihara K, Inuo M, Kuromaru R, Miyako K, Kohno H, Kinukawa N, Hara T	小児科
Microbiol Immunol 51:889-92, 2007	A novel agar medium to detect hydrogen peroxide-producing bacteria based on the Prussian blue-forming reaction.	Saito M, Seki M, Iida K, Nakayama H, Yoshida SI	小児科
J Immunol 178:3806-13, 2007	H2-M3-restricted CD8+ T cells induced by peptide-pulsed dendritic cells confer protection against Mycobacterium tuberculosis.	Doi T, Yamada H, Yajima T, Wajjwalku W, Hara T, Yoshikai Y	小児科
Nature 448:1058-62, 2007	Dominant-negative mutations in the DNA-binding domain of STAT3 cause hyper-IgE syndrome.	Minegishi Y, Saito M, Tsuchiya S, Tsuge I, Takada H, Hara T, Kawamura N, Ariga T, Pasic S, Stojkovic O, Metin A, Karasuyama H	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Exp Med 204:2407-22, 2007	Selective predisposition to bacterial infections in IRAK-4-deficient children: IRAK-4-dependent TLRs are otherwise redundant in protective immunity.	Ku CL, von Bernuth H, Picard C, Zhang SY, Chang HH, Yang K, Chrabieh M, Issekutz AC, Cunningham CK, Gallin J, Holland SM, Roifman C, Ehl S, Smart J, Tang M, Barrat FJ, Levy O, McDonald D, Day-Good NK, Miller R, Takada H, Hara T, Al-Hajjar S, Al-Ghonaium A, Speert D, Sanlaville D, Li X, Geissmann F, Vivier E, Marodi L, Garty BZ, Chapel H, Rodriguez-Gallego C, Bossuyt X, Abel L, Puel A, Casanova JL	小児科
J Clin Oncol 25:5442-7, 2007	Prospective Study of a Pirarubicin, Intermediate-Dose Cytarabine, and Etoposide Regimen in Children With Down Syndrome and Acute Myeloid Leukemia: The Japanese Childhood AML Cooperative Study Group.	Kudo K, Kojima S, Tabuchi K, Yabe H, Tawa A, Imaizumi M, Hanada R, Hamamoto K, Kobayashi R, Morimoto A, Nakayama H, Tsuchida M, Horibe K, Kigasawa H, Tsukimoto I	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Leukemia 21:288-96, 2007	Hypercalcemia in childhood acute lymphoblastic leukemia: frequent implication of PTHrP and E2A-HLF from translocation 17;19.	Inukai T, Hirose K, Inaba T, Kurosawa H, Hama A, Inada H, Chin M, Nagatoshi Y, Ohtsuka Y, Oda M, Goto H, Endo M, Morimoto A, Imaizumi M, Kawamura N, Miyajima Y, Otake M, Miyaji R, Saito M, Tawa A, Yanai F, Goi K, Nakazawa S, Sugita K	小児科
Pediatr Transplant 11:180-6, 2007	Bone marrow transplantation in children with severe aplastic anemia using a conditioning regimen containing 3 Gy of total body irradiation, cyclophosphamide with or without antithymocyte globulin.	Inagaki J, Nagatoshi Y, Kawano Y, Saito Y, Takahashi D, Nagayama J, Shinkoda Y, Hirata H, Okamura J	小児科
Br J Haematol 136:297-300, 2007	Expression and production of aberrant PAX5 with deletion of exon 8 in B-lineage acute lymphoblastic leukaemia of children.	Sadakane Y, Zaitsu M, Nishi M, Sugita K, Mizutani S, Matsuzaki A, Sueoka E, Hamasaki Y, Ishii E	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol 85:246-55, 2007	Outcome of non-T-cell-depleted HLA-haploididential hematopoietic stem cell transplantation from family donors in children and adolescents.	Yoshihara T, Okada K, Kobayashi M, Kikuta A, Kato K, Adachi N, Kikuchi A, Ishida H, Hirota Y, Kuroda H, Nagatoshi Y, Inukai T, Koike K, Kigasawa H, Yagasaki H, Tokuda K, Kishimoto T, Nakano T, Fujita N, Goto H, Nakazawa Y, Kanegane H, Matsuzaki A, Osugi Y, Hasegawa D, Uoshima N, Nakamura K, Tsuchida M, Tanaka R, Watanabe A, Yabe H	小児科
Leukemia Res 31:1437-40, 2007	Expression of matrix metalloproteinase (MMP) and tissue inhibitor of MMP (TIMP) genes in blasts of infant acute lymphoblastic leukemia with organ involvement.	Suminoe A, Matsuzaki A, Hattori H, Koga Y, Ishii E, Hara T	小児科
Leukemia Res 31:1633-40, 2007	Regulatory polymorphisms of multidrug resistance 1 (MDR1) gene are associated with the development of childhood acute lymphoblastic leukemia.	Hattori H, Suminoe A, Wada M, Koga Y, Kohno K, Okamura J, Hara T, Matsuzaki A	小児科
Pediatr Transplant 11:601-7, 2007	Hematopoietic stem cell transplantation for Diamond-Blackfan anemia: a report from the Aplastic Anemia Committee of the Japanese Society of Pediatric Hematology	Mugishima H, Ohga S, Ohara A, Kojima S, Fujisawa K, Tsukimoto I	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol 86:58–65, 2007	Nation-wide survey analysis of hemophagocytic lymphohistiocytosis (HLH) in Japan.	Ishii E, Ohga S, Imashuku S, Yasukawa M, Tsuda H, Miura I, Yamamoto K, Horiuchi H, Takada K, Ohshima K, Nakamura S, Kinukawa N, Oshimi K, Kawa K	小児科
Haematologica 92:978–81, 2007	Perforin gene mutations in hemophagocytic lymphohistiocytosis with late-life onset.	Nagafuji K, Nonami A, Kumano T, Kikushige Y, Yoshimoto G, Takenaka K, Shimoda K, Ohga S, Yasukawa M, Horiuchi H, Ishii E, Harada M	小児科
Hum Genet 121:223–32, 2007	PD-1 gene haplotype is associated with the development of type 1 diabetes mellitus in Japanese children.	Ni R, Ihara K, Miyako K, Kuromaru R, Inuo M, Kohno H, Hara T	小児科
J Perinat Med 35:425–30, 2007	Monochorionic twins in which at least one fetus has a congenital heart disease with or without twin-twin transfusion syndrome.	Hidaka N, Tsukimori K, Chiba Y, Hara T, Wake N	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Intern Med 261:605-10, 2007	Recent herpes simplex virus infection in a patient with autoimmune polyendocrinopathy-candidiasis-ectodermal dystrophy associated with L29P and IVS9-1G>C compound heterozygous autoimmune regulator gene mutations.	Nagafuchi S, Umene K, Yamanaka F, Oohashi S, Shindo M, Kurisaki H, Kudoh J, Shimizu N, Hara T, Harada M	小児科
J Pediatr 151:155-60, 2007	Tissue inhibitor of metalloproteinase 2 and coronary artery lesions in Kawasaki Disease.	Furuno K, Takada H, Yamamoto K, Ikeda K, Ohno T, Khajee V, Mizuno Y, Hara T	小児科
Neurosci Res 59:191-8, 2007	The Relationship Between Retrieval Success and Task Performance During the Recognition of Meaningless Shapes: an Event-Related Near-Infrared Spectroscopy Study.	Sanefuji M, Nakashima T, Kira R, Iwayama M, Torisu H, Sakai Y, Hara T	小児科
J Neurol Sci 252:45-8, 2007	Serum levels of matrix metalloproteinase-9 and tissue inhibitors of metalloproteinases 1 in subacute sclerosing panencephalitis.	Ichiyama T, Siba P, Suarkia D, Takasu T, Miki K, Kira R, Kusuhara K, Hara T, Toyama J, Furukawa S	小児科
Fetal Diagn Ther 22:68-74, 2007	Long-Term Outcome of Infants with Twin-to-Twin Transfusion Syndrome	Hikino S, Ohga S, Kanda T, Nakashima T, Yamamoto J, Nakayama H, Nakano H, Hara T	小児科
Nutrition 23:782-7, 2007	Clinical features of selenium deficiency in infants receiving long-term nutritional support	Masumoto K, Nagata K, Higashi M, Nakatsuji T, Uesugi T, Takahashi Y, Nishimoto Y, Kitajima J, Hikino S, Hara T, Nakashima K, Nakashima K, Oishi R, Taguchi T	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Dev Med Child Neurol 49:587-90, 2007	Increased inflammatory markers are associated with early periventricular leukomalacia.	Tsukimori K, Komatsu H, Yoshimura T, Hikino S, Hara T, Wake N, Nakano H	小児科
Prenat Diagn 27:507-11, 2007	Prenatal sonographic findings and hematological abnormalities in fetuses with transient abnormal myelopoiesis with Down syndrome.	Hojo S, Tsukimori K, Kitade S, Nakanami N, Hikino S, Hara T, Wake N	小児科
J Virol 81:1650-9, 2007	Measles virus infection of SLAM (CD150) knockin mice reproduces tropism and immunosuppression in human infection.	Ohno S, Ono N, Seki F, Takeda M, Kura S, Tsuzuki T, Yanagi Y	小児科
Nat Genet 39:1013-7, 2007	Germline gain-of-function mutations in RAF1 cause Noonan syndrome.	Razzaque MA, Nishizawa T, Komoike Y, Yagi H, Furutani M, Amo R, Kamisago M, Momma K, Katayama H, Nakagawa M, Fujiwara Y, Matsushima M, Mizuno K, Tokuyama M, Hirota H, Muneuchi J, Higashinakagawa T, Matsuoka R	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hum Genet 52:1040-3, 2007	Novel mutations in five Japanese patients with 3-methylcrotonyl-CoA carboxylase deficiency.	Uematsu M, Sakamoto O, Sugawara N, Kumagai N, Morimoto T, Yamaguchi S, Hasegawa Y, Kobayashi H, Ihara K, Yoshino M, Watanabe Y, Inokuchi T, Yokoyama T, Kiwaki K, Nakamura K, Endo F, Tsuchiya S, Ohura T	小児科
J Cell Physiol 213:261-8, 2007	Hormonal regulation of IGFBP-2 proteolysis is attenuated with progression to androgen insensitivity in the LNCaP progression model.	Degraff DJ, Malik M, Chen Q, Miyako K, Rejto L, Aguiar AA, Bancroft DR, Cohen P, Sikes RA	小児科
Vaccine 25:3454-63, 2007	Dermal testing of vaccine for children at high risk of allergies.	Sugai K, Shiga A, Okada K, Iwata T, Ogura H, Maekawa K, Yokota S	小児科
Microbiol Immunol 51:609-16, 2007	Duration of neutralizing antibody titer after Japanese encephalitis vaccination.	Abe M, Okada K, Hayasida K, Matsuo F, Shiosaki K, Miyazaki C, Ueda K, Kino Y	小児科
J Asthma 44:475-8, 2007	Exhaled nitric oxide and exercise-induced bronchospasm assessed by FEV1, FEF25-75% in childhood asthma.	Nishio K, Odajima H, Motomura C, Nakao F, Nishima S	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepato-Gastroenterology 54(74):373-376	A Remote Educational System in Medicine Using Digital Video	Hahm JS	第一外科
Mod Pathol. 20(2):267-276	Expression of GalNAc-T3 and its relationships with clinicopathological factors in 61 extrahepatic bile duct carcinomas analyzed using stepwise sections - special reference to its association with lymph node metastases-.	Inoue T	第一外科
J eHealth Tech Application 5(2):1-7	International Collaborations over Advanced Networks	Konishi K	第一外科
Anticancer Res. 27(4C):2673-2678	Phase I/II study of irinotecan and UFT for advanced or metastatic colorectal cancer.	Mibu R	第一外科
Clin Cancer Res 13(15):4371-4377	The Role of the DNA Damage Checkpoint Pathway in Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas	Miyasaka Y	第一外科
Oncol Rep. 17(4):721-729	Co-expression of gastric and biliary phenotype in pyloric-gland type adenoma of the gallbladder: immunohistochemical analysis of mucin profile and CD10.	Nagata S	第一外科
Anticancer Res. 18:769-774	Anti-patched-1 antibodies suppress hedgehog signaling pathway and pancreatic cancer proliferation.	Nakamura M	第一外科
Methods. Info. Med. 46(6):709-715	Development of a broadband telemedical network based on internet protocol in the Asia-Pacific region.	Nakashima N	第一外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Esophagus (4)59–65	Minimally invasive radical esophagectomy for esophageal cancer	Noshiro H	第一外科
Int J Cancer. 120(8):1634–1640	Twist, a novel oncogene, is upregulated in pancreatic cancer: Clinical implication of Twist expression in pancreatic juice.	Ohuchida K	第一外科
Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 16(4):649–654	S100A6 is increased in a stepwise manner during pancreatic carcinogenesis: clinical value of expression analysis in 98 pancreatic juice samples.	Ohuchida K	第一外科
Cancer Res. 67(14):6577–6604	MUTYH-null mice are susceptible to spontaneous and oxidative stress induced intestinal tumorigenesis.	Sakamoto K	第一外科
J Laparoendosc Adv Surg Tech A 17(5):673–677	Telesurgery system with original-quality moving images over high-speed Internet: expansion within the Asia-Pacific region.	Shimizu S	第一外科
Anticancer Res 27(2):793–729	Increased expression of ADAM 9 and ADAM 15 mRNA in pancreatic cancer.	Yamada D	第一外科
Mod Pathol. 20(5):552–561	Fascin overexpression in intraductal papillary mucinous neoplasms (adenomas, borderline neoplasms, and carcinomas) of the pancreas, correlated with increased histological grade.	Yamaguchi H	第一外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Surg Oncol. 95(1):55-62	Hedgehog signaling pathway is a possible therapeutic target for gastric cancer.	Yanai K	第一外科
臨床雑誌 外科 69(8):897-903	脾頭十二指腸切除術(PD)をめぐる諸問題 III. 縮小手術の比較・検討2. 再建法による幽門輪温存 PD 後胃排出遅延の有無—運動生理学的エビデンスより	中村雅史	第一外科
Dis Esophagus 20(4):301-304,2007	Salvage esophagectomy after definitive chemoradiotherapy for esophageal cancer.	Oki E, et al.	第二外科
Cancer Sci 98:1152-1156,2007	p53 gene mutations in esophageal squamous cell carcinoma and their relevance to etiology and pathogenesis: Results in Japan and comparison with other countries.	Egashira A, et al.	第二外科
J Cancer Res Clin Oncol.133(12): 995-1000,2007	Clinical significance of cytokeratin positive cells in bone marrow of gastric cancer patients.	Oki E, et al.	第二外科
J Am Coll Surg.204 580-587,2007	Trends in morbidity and mortality after hepatic resection for hepatocellular carcinoma : an institute's experience with 625 patients.	Taketomi A, et al.	第二外科
Transplantation.83 893-899,2007	Extended indication for living donor liver transplantation in patients with hepatocellular carcinoma.	Soejima Y, et al.	第二外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatology 47(3):966-977,2007	Defective endothelial nitric oxide synthase signaling is mediated by rho-kinase activation in rats with secondary biliary cirrhosis.	Anegawa G, et al.	第二外科
Cancer 110:2793-2798,2007	The Serum Carcinoembryonic Antigen Level is Associated with Epidermal Growth Factor Receptor Mutations in Recurrent Lung Adenocarcinomas.	Shoji F, et al.	第二外科
Am J Sports Med 35: 1091-1097, 2007	Assessment of anterolateral rotatory instability in the ACL-deficient knee using an open MRI system.	Okazaki K, Miura H, Matsuda S, Yasunaga T, Nakashima H, Konishi K, Iwamoto Y, Hashizume M	整形外科
J Orthop Res 25: 867-872, 2007	Can magnetic resonance imaging-derived bone models be used for accurate motion measurement with single-plane three-dimensional shape registration?	Moro-oka T, Hamai S, Miura H, Shimoto T, Higaki H, Fregly BJ, Iwamoto Y, Banks SA	整形外科
J Orthop Sci 12: 214-218, 2007	Femoral shaft bowing influences the correction angle for high tibial osteotomy.	Nagamine R, Inoue S, Miura H, Matsuda S, Iwamoto Y	整形外科
Rheumatol Int 27:1135-1142, 2007.	Factors associated with pain and functional limitation in Japanese male patients with knee osteoarthritis.	Kondo K, Hirota Y, Kawamura H, Miura H, Takasugi S, Sugioka Y, Inoue H, Kurosaka M, Iwamoto Y	整形外科
Clin Orthop 463:144-150, 2007	Minimally invasive versus the standard approach in total knee arthroplasty.	Tashiro Y, Miura H, Matsuda S, Okazaki K, Iwamoto Y	整形外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Stroke 2007/12	Display of the epileptogenic zone on the frontal cortical surface using dynamic voltage topography of ictal electrocorticographic discharges	Kai Y	脳神経外科
British Journal of Pharmacology 2007/12	Up-regulation of proteinase-activated receptor 1 and increased contractile responses to thrombin after subarachnoid haemorrhage.	Maeda Y	脳神経外科
Journal of Neurosurgery 2007/9	Results of a long-term follow-up after neuroendoscopic biopsy procedure and third ventriculostomy in patients with intracranial germinomas.	Shono T	脳神経外科
Journal of Neurosurgery 2007/11	Brain shift: an error factor during implantation of deep brain stimulation electrodes.	Miyagi Y	脳神経外科
Neurological research 2007/12	Additional hippocectomy in the surgical management of intractable temporal lobe epilepsy associated with glioneuronal tumor	Morioka T	脳神経外科
Journal of neuro-oncology 2007/7	Expression of VEGF and its receptor genes in intracranial schwannomas	Uesaka T	脳神経外科
Journal of neuro-oncology 2007/9	Enhanced expression of DNA topoisomerase II genes in human medulloblastoma and its possible association with etoposide sensitivity	Uesaka T	脳神経外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Transplantation 83(2): 184-192, 2007	Effects of cyclosporin A on the activation of NKT cells induced by α -galactosylceramide	Kajiwara T	心臓外科
Surg Today 37(1) : 24-29, 2007	Efficacy and limitations of natural killer cell depletion in cyclophosphamide-induced tolerance	Shimizu I	心臓外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg 55(6):252-254, 2007	Flail chest with a sharp fragment of the rib pointing to the aorta	Sata S	心臓外科
Interact CardioVasc Thorac Surg 6(1):97-101, 2007	Three hundred thirty three experiences with the bidirectional Glenn procedure in a single institute	Tanoue Y	心臓外科
Asian Cardiovasc Thorac Ann 15(1): 19-23, 2007	Risk evaluation and midterm outcome of cardiac surgery in patients on dialysis	Boku N	心臓外科
Blood 109(4): 1773-1781, 2007	B-cell extrinsic CR1/CR2 promotes natural antibody production and tolerance induction of anti-alphaGAL-producing B-1 cells	Shimizu I	心臓外科
J Vasc Surg 45:1236-1243, 2007	Blockade of monocyte chemoattractant protein-1 by adenoviral gene transfer inhibits experimental vein neointimal formation	Tatewaki H	心臓外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hypertension 50(4):E140-141, 2007	Local lung delivery of nuclear Factor-kappa B decoy via single intratracheal administration of Bioabsorbable polymeric nanoparticle attenuates monocrotaline-induced pulmonary hypertension	Kimura S	心臓外科
Am J Transplant Sup 7(2): 485, 2007	Influence of the Th1/Th2 paradigm for the regulatory function of the natural killer T (NKT) cells in cyclophosphamide (CP)-Induced	Onzuka T	心臓外科
Transplantation 84:1686-1695, 2007	The immunoregulatory roles of NKT cells in cyclophosphamide-induced tolerance.	Iwai T, Tomita Y* These two authers were equally contributed	心臓外科
Eur J Cardiothorac Surg 32:730-734, 2007	Elastomeric surgical sealant for hemostasis of cardiovascular anastomosis under full heparinization	Eto M	心臓外科
Ann Thorac Surg 84(5):1619－1626, 2007	Excellent Midterm Outcome of Extracardiac Conduit Total Cavopulmonary Connection: Results of 126 Cases	Nakano T	心臓外科
Eur J Pediatr 166:607-612,2007	Risk factors for sensorineural hearing loss in survivors with severe congenital diaphragmatic hernia.	Masumoto K,Nagata K,Uesugi T,Yamada T,Taguchi T	小児外科
Nutrition 23:782-787,2007	Clinical features of selenium deficiency in infants receiving long-term nutritional support.	Masumoto K, Nagata K,Higashi M,Nakatsuji T,Uesugi T,	小児外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Pediatr Surg 42:2007-2011,2007	Effectiveness of diaphragmatic repair using an abdominal muscle flap in patients with recurrent congenital diaphragmatic hernia.	Masumoto K,Nagata K,Souzaki R,Uesugi T, Takahashi Y,	小児外科
Gene therapy 14:1017-1028,2007	Impact of Deletion of Membranous Genes of Recombinant Sendai Viruses on Immune Responses Following Pulmonary Gene Transfer of Neonatal Mice	Tanaka S,Yonemitsu Y,Yoshida K,Okano S, Kondo H	小児外科
Pediatr Surg Int 23:953-959,2007	Effect of insulin-like-growth factor and its receptors regarding lung development in fetal mice	Nagata K,Masumoto K,Uesugi T,Yamamoto S,Yoshizaki K	小児外科
J Pediatr Surg 42:489-493,2007	Implications of MYCN amplification in patients with stage 4 neuroblastoma who undergo intensive chemotherapy	Suita S, Tajiri T, Kaneko M, Hirai M, Mugishima H	小児外科
Eur J Pediatr Surg 17:23-28,2007	Insights into infant neuroblastomas based on an analysis of neuroblastomas detected by mass screening at 6 months of age in Japan	Suita S, Tajiri T, Higashi M, Tanaka S, Kinoshita Y	小児外科
J Pediatr Surg 42:2046-2049,2007	Classification of neuroblastomas based on an analysis of the expression of genes related to the prognosis	Tajiri T, Higashi M, Souzaki R, Tatsuta K, Kinoshita Y	小児外科
J Pediatr Hematol Oncol 29:551-556,2007	High expressions of neuronatin isoforms in favorable neuroblastoma	Higashi M, Tajiri T, Kinoshita Y, Tatsuta K, Souzaki R	小児外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cancer Res Clin Oncol 133:817-24,2007	Highly aggressive behavior of malignant rhabdoid tumor: a special reference to SMARCB1/INI1 gene alterations using molecular genetic analysis including quantitative real-time PCR.	Kohashi K, Oda Y, Yamamoto H, Tamiya S, Izumi T	小児外科
Transpl Int 20:616-624,2007	Morphological and physiological changes of interstitial cells of Cajal after small bowel transplantation in rats.	Matsuura T, Masumoto K, Ieiri S, Nakatsuji T, Akiyoshi J	小児外科
J Pediatr Surg 42:1377-1385,2007	The influence of rejection on graft motility after intestinal transplantation in swine: the possibility of using this method for the real-time monitoring of acute cellular rejection.	Matsuura T, Taguchi T, Hayashida M, Ogita K, Takada N	小児外科
J Pediatr Surg 42:2097-2101,2007	The evidence of maternal microchimerism in biliary atresia using fluorescent in situ hybridization	Hayashida M, Nishimoto Y, Matsuura T, Takahashi Y, Kohashi K	小児外科
Br J Dermatol 2007;157(4):690-7.	Assessment of abnormal blood flow and efficacy of treatment in patients with systemic sclerosis using a newly developed microwireless laser Doppler flowmeter and arm-raising test.	Kido M 他	皮膚科
Br J Dermatol. 2007;156(6):1367-9	Ciclosporin treatment of psoriasis in a patient with chronic hepatitis C.	Imafuku S 他	皮膚科
J Dermatol Sci. 2007;48(1):71-3	Significance of the expression of phosphorylated-STAT3, -Akt, and -ERK1/2 in several tumors of the epidermis.	Lin N 他	皮膚科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Br J Dermatol. 2007;157(6):1277-9.	Cutaneous Langerhans cell histiocytosis in an elderly man successfully treated with narrowband ultraviolet B.	Imafuku S 他	皮膚科
J Dermatol Sci. 2007;48(1):64-6.	Significance of the expression of phosphorylated signal transducer and activator of transcription-3, -Akt, and -cyclin D1 in angiosarcoma.	Lin N 他	皮膚科
J Dermatol Sci. 2007;47(3):227-31.	Community validation of the U.K. diagnostic criteria for atopic dermatitis in Japanese elementary schoolchildren.	Saeki H 他	皮膚科
Environ Toxicol. 2007;22(2):124-31.	Relationship between clinical features and blood levels of pentachlorodibenzofuran in patients with Yusho.	Imamura T 他	皮膚科
Prostate Cancer Prostatic Dis 10: 1-8, 2007	Bicalutamide 80mg combined with a luteinizing hormone-releasing hormone agonist (LHRH-A) versus LHRH-A monotherapy in advanced prostate cancer: findings from a phase III randomized, double-blind, multicenter trial in Japanese patients.	Usami M, Akaza H, Arai Y, et al.	泌尿器科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Urol 14 (2): 112–117, 2007	A pilot study of the assessment of the quality of life, functional results, and complications in patients with an ileal neobladder for invasive bladder cancer.	Harano M,Eto M,Nakamura M,et al.	泌尿器科
Clin Cancer Res 13 (3): 1029–1035, 2007	Cyclophosphamide-using nonmyeloablative allogeneic cell therapy against renal cancer with a reduced risk of graft-versus-host disease.	Eto M,Harano M,Tatsugami K,et al.	泌尿器科
J Pathol 212 (2): 218–226, 2007	Oxidative stress and DNA hypermethylation status in renal cell carcinoma arising in patients on dialysis.	Hori Y, Oda Y, Kiyoshima K,et al.	泌尿器科
Int J Urol 14 (6): 479–482, 2007	Prevalence of renal cell carcinoma: A nation-wide survey in Japan, 2002	Marumo K,Kanayama H,Miyao N, et al.	泌尿器科
Br J Pharmacol 151 (7): 1014–1024, 2007	Dimethyl sulphoxide relaxes rabbit detrusor muscle by decreasing the Ca ²⁺ sensitivity of the contractile apparatus.	Shiga K-i,Hirano K, Nishimura J,et al.	泌尿器科
J Nutr 137 (8): 1974–1979, 2007	Dietary isoflavones may protect against prostate cancer in Japanese men.	Nagata Y, Sonoda T,Mori M, et al.	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol 37 (3): 201–206, 2007	Efficacy and safety of gemcitabine monotherapy in patients with transitional cell carcinoma after Cisplatin-containing therapy: a Japanese experience.	Akaza H,Naito S,Usami M, et al.	泌尿器科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Clin Oncol 25 (19): 2785-2791, 2007	STAT3 polymorphism predicts interferon-alfa response in patients with metastatic renal cell carcinoma.	Ito N, Eto M, Nakamura E, et al.	泌尿器科
Int J Urol 14 (6): 500-504, 2007	Association analysis of glutathione-S-transferase P1 (GSTP1) polymorphism with urothelial cancer susceptibility and myelosuppression after M-VAC chemotherapy.	Yokomizo A, Yamamoto K, Kinukawa N, et al.	泌尿器科
J Endourol 21 (2): 192-196, 2007	Holmium laser enucleation of the prostate: Comparison of the outcomes according to the prostate size in a series of 97 Japanese patients.	Seki N, Tatsugami K, Naito S	泌尿器科
Neurourol Urodyn 26 (5): 682-683, 2007	Analysis of the prognostic factors for overactive bladder syndrome following surgical treatment in patients with symptomatic benign prostatic enlargement.	Seki N, Takei M, Yamaguchi A, Naito S	泌尿器科
Neurourol Urodyn 26 (4): 547-551, 2007	RhoA/Rho kinase-mediated Ca ²⁺ sensitization in the contraction of human prostate.	Takahashi R, Nishimura J, Seki N, et al.	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol 37 (10): 775-781, 2007	Current status of endocrine therapy for prostate cancer in Japan - analysis of primary androgen deprivation therapy on the basis of data collected by J-CaP.	Hinotsu S, Akaza H, Usami M, et al.	泌尿器科
Fukuoka Acta Med 98 (11): 389-396, 2007	Comparison of standard and hand-assisted laparoscopic radical nephrectomy for renal cell carcinoma.	Harano M, Eto M, Yokomizo A, et al.	泌尿器科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Endourol 21 (12): 1517–1520, 2007	Broadcast of live endoscopic surgery from Korea to Japan using the digital video transport system.	Eto M, Lee TY, Gill IS, et al.	泌尿器科
Neurourol Urodyn, 2007	Association among the symptoms, quality of life and urodynamic parameters in patients with improved lower urinary tract symptoms following a transurethral resection of the prostate.	Seki N, Yunoki T, Tomoda T, et al.	泌尿器科
BJU Int 100 (3): 579–587, 2007	Randomized, double-blind, placebo- and propiverine-controlled trial of the once-daily antimuscarinic agent solifenacin in Japanese patients with overactive bladder.	Yamaguchi O, Marui E, Kakizaki H, et al.	泌尿器科
Urology 70 (5): 965–969, 2007	Prognostic significance of location of positive margins in radical prostatectomy specimens.	Eastham JA, Kuroiwa K, Ohori M, et al.	泌尿器科
J Urol 178 (6): 2260–2267, 2007	Focal therapy for localized prostate cancer: a critical appraisal of rationale and modalities.	Eggener SE, Scardino PT, Carroll PR, et al.	泌尿器科
Radiology 245 (2): 499–506, 2007	Detection of prostate cancer with MR spectroscopic imaging: an expanded paradigm incorporating polyamines.	Shukla-Dave A, Hricak H, Moskowitz C, et al.	泌尿器科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Radiat Oncol Biol Phys 69(1): 62-69, 2007	Clinically significant prostate cancer local recurrence after radiation therapy occurs at the site of primary tumor: magnetic resonance imaging and step-section pathology evidence.	Pucar D,Hricak H,Shukla-Dave A,et al.	泌尿器科
J Urol 177 (4): 1324-1329, 2007	The anatomical and pathological characteristics of irradiated prostate cancers may influence the oncological efficacy of salvage ablative therapies.	Huang WC,Kuroiwa K,Serio AM,et al.	泌尿器科
BJU Int 99 (4): 786-793, 2007	The utility of magnetic resonance imaging and spectroscopy for predicting insignificant prostate cancer: an initial analysis.	Shukla-Dave A, Hricak H,Kattan MW,et al.	泌尿器科
Eur Urol 52 (4): 1090-1096, 2007	Risk-adjusted analysis of positive surgical margins following laparoscopic and retropubic radical prostatectomy.	Touijer K,Kuroiwa K,Eastham JA,et al.	泌尿器科
Eur Urol 51 (3): 764-771, 2007	Preoperative and intraoperative risk factors for side-specific positive surgical margins in laparoscopic radical prostatectomy for prostate cancer.	Secin FP, Serio A, Bianco FJ Jr,et al.	泌尿器科
Radiology 242 (1): 182-188, 2007	Prediction of seminal vesicle invasion in prostate cancer: incremental value of adding endorectal MR imaging to the Kattan nomogram.	Wang L, Hricak H, Kattan MW,et al.	泌尿器科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Prostate 67 (15): 1601–1613, 2007	Culture requirements of prostatic epithelial cell lines for acinar morphogenesis and lumen formation in vitro: Role of extracellular calcium.	Tyson DR, Inokuchi J, Tsunoda T, et al.	泌尿器科
J Gynecol Obstet Biol Reprod, 36(6):530–548, 2007	Thérapeutique des troubles anxieux et dépressifs de la grossesse et du post-partum. Revue et synthèse. (Psychological and pharmacological treatments of mood and anxiety disorders during pregnancy and postpartum. Review and synthesis.)	Dayan J, Yoshida K	精神科神経科
Neurochem Int, 51: 227–232, 2007	A neurotoxic dose of methamphetamine induces gene expression of Homer 1a, but not Homer 1b or 1c, in the striatum and nucleus accumbens.	Hashimoto K, Nakahara T, Yamada H, Hirano M, Kuroki T, Kanba S	精神科神経科
Neurochem Int, 50(3): 499–506, 2007	Phospholipids modulate superoxide and nitric oxide production by lipopolysaccharide and phorbol 12-myristate-13-acetate-activated microglia.	Hashioka S, Han YH, Fujii S, Kato T, Monji A, Utumi H, Sawada M, Nakanishi H, Kanba S	精神科神経科
Free Radic Biol Med, 42(7): 945–954, 2007	Phosphatidylserine and phosphatidylcholine-containing liposomes inhibit amyloid beta and interferon-gamma-induced microglial activation.	Hashioka S, Han YH, Fujii S, Kato T, Monji A, Utsumi H, Sawada M, Nakanishi H, Kanba S	精神科神経科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Exp Neurol, 206(1): 33-42, 2007	Antidepressants inhibit interferon-gamma-induced microglial production of IL-6 and nitric oxide.	Hashioka S, Klegeris A, Monji A, Kato T, Sawada M, McGeer PL, Kanba S	精神科神経科
J Clin Psychopharmacol, 27: 93-94, 2007	Attitude of patients with mood disorder toward clinical trials in Japan.	Hirano S, Onitsuka T, Kuroki T, Yokota K, Higuchi T, Watanabe K, Nakamura J, Kanba S	精神科神経科
Behav Neurosci, 121: 602-613, 2007	Prediction of children's reading skills using behavioral, functional, and structural neuroimaging measures.	Hoeft F, Ueno T, Reiss AL, Meyler A, Whitfield-Gabrieli S, Glover GH, Keller TA, Kobayashi N, Mazaika P, B, Just MA, Gabrieli JD	精神科神経科
Schizophr Res, 92(1-3): 108-115, 2007	Risperidone significantly inhibits interferon-gamma-induced microglial activation in vitro.	Kato T, Monji A, Hashioka S, Kanba S	精神科神経科
Biochem Biophys Res Commun, 356(3): 769-772, 2007	A particular hydrophobic cluster in the residual structure of reduced Lysozyme drastically affects the amyloid fibrils formation.	Mishima T, Ohkuri T, Monji A, Imoto T, Ueda T	精神科神経科
Schizophr Res, 92: 197-206, 2007	Occipital lobe gray matter volume in male patients with chronic schizophrenia: A quantitative MRI study.	Onitsuka T, McCarley RW, Kuroki N, Dickey CC, Demeo S, Frumin M, Kikinis R, Jolesz FA, Shenton ME	精神科神経科
Brain Res, 1131: 88-96, 2007	The dopamine D ₁ receptor agonist, but not the D ₂ receptor agonist, induces gene expression of Homer 1a in rat striatum and nucleus accumbens.	Yamada H, Kuroki T, Nakahara T, Hashimoto K, Tsutsumi T, Hirano M, Maeda H	精神科神経科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Graefe Arch Clin Exp Ophthalmol 245: 1019–1025, 2007	Preclinical investigation of fluorometholone acetate as a potential new adjuvant during vitreous surgery.	Hata Y, Ueno A, Miura M, Ishibashi T et al	眼科
Retina 27: 499–504, 2007	Biocompatibility of Brilliant Blue G in a rat model of subretinal injection	Ueno A, Mochizuki Y, Hata Y, Ishibashi T. et al	眼科
Eur J Ophthalmol. 17: 392–398, 2007	Long-term clinical outcomes and therapeutic benefits of triamcinolone-assisted pars plana vitrectomy for proliferative vitreoretinopathy: a case study.	Ueno A, Hata Y, Hisatomi T, Mochizuki Y, Ishibashi T et al	眼科
Int Immunol 19:93–98, 2007	WSX-1 plays a significant role for the initiation of experimental autoimmune uveitis.	Sonoda KH, Ishibashi T, Yoshida H et al	眼科
European Journal of Ophthalmology 17:372–376, 2007	Aqueous and vitreous penetration of levofloxacin after topical and/or oral administration.	Sakamoto H, Hata Y, Ishibashi T et al	眼科
Br J Ophthalmol Apr 91:520–526, 2007	Identification of resident and inflammatory bone marrow derived cells in the sclera by bone marrow and haematopoietic stem cell transplantation.	Hisatomi T, Sonoda KH, Noda K, Miyahara S, Ishibashi T, et al	眼科
Diabetes 56:1421–1428, 2007	Transforming Growth Factor- β 2 and Connective Tissue Growth Factor in Proliferative Vitreoretinal Diseases.	Kita T, Hata Y, Miura M, Noda Y, Ishibashi T. et al	眼科
World J Gastroenterol. 13(47):6436–8, 2007.	Metastatic hepatocellular carcinoma of the external auditory canal.	Yasumatsu R	耳鼻咽喉科 頭頸部外科
Head&Neck 10.1002:577–584, 2007.	β -Catenin nuclear accumulation in head and neck mucoepidermoid carcinoma : its role in cyclin D1 overexpression and tumor progression.	Shiratsuchi H	耳鼻咽喉科 頭頸部外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acad Radiol 2008;15(2)	MR tractography based on directional diffusion function: validation in somatotopic organization of the pyramidal tract.	Yoshiura T	放射線科
Acad Radiol 2008;15(2)	Cortical damage in Alzheimer's disease: estimation in medial and lateral aspects of the cerebrum using an improved mapping method based on diffusion-weighted magnetic resonance imaging.	Yoshiura T	放射線科
Am J Neuroradiol. 2007 Jun;28(6)	Patients with Osteoporosis on Steroid Medication Tend to Sustain Subsequent Fractures.	Hiwatashi A	放射線科
Am J Roentgenol. 2007 Apr;188(4)	Cement Leakage during Vertebroplasty can be Predicted on Preoperative MR Imaging	Hiwatashi A	放射線科
Am J Neuroradiol. 2007 Apr;28(4)	Vertebroplasty for osteoporotic fractures with spinal canal compromise.	Hiwatashi A	放射線科
Magnetic Resonance in Medical Sciences 2007;6(2)	Quantitative perfusion imaging with pulsed arterial spin labeling: a phantom study.	Noguchi T	放射線科
Am J Neuroradiol. 2008;29(4)	Perfusion imaging of brain tumors using arterial spin-labeling: correlation with histopathologic vascular density.	Noguchi T	放射線科
Ann Nucl Med. 2007 Oct;21(8)	SPECT evaluation of cerebral blood flow during arm exercise in patients with subclavian steal.	Kaneko K	放射線科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Nucl Med. 2007 Sep; 14	Comparison of Uptake of Multiple Clinical Radiotracers into Brown Adipose Tissue Under Cold-Stimulated and Nonstimulated Conditions.	Baba S	放射線科
J Nucl Med. 2007 Jun; 48(6)	Effect of nicotine and ephedrine on the accumulation of 18F-FDG in brown adipose tissue.	Baba S	放射線科
Jpn J Clin Oncol. 2007; 37(12)	Radiation therapy for recurrent esophageal cancer after surgery: clinical results and prognostic factors.	Shioyama Y	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2007; 68(5)	Preserving functional lung using perfusion imaging and intensity-modulated radiation therapy for advanced-stage non-small cell lung cancer.	Shioyama Y	放射線科
Radiat Med. 2008; 26(1)	Breath-hold monitoring and visual feedback for radiotherapy using a charge-coupled device camera and a head-mounted display: system development and feasibility.	Yoshitake T	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2007; 68(1)	Reproducibility of the abdominal and chest wall position by voluntary breath-hold technique using a laser-based monitoring and visual feedback system.	Nakamura K	放射線科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur Radiol. 2007; 17(5)	Detection of masses and microcalcifications of breast cancer on digital mammograms: comparison among hard-copy film, 3-megapixel liquid crystal display (LCD) monitors and 5-megapixel LCD monitors: an observer performance study.	Kamitani T	放射線科
Eur J Radiol. 2007 Jul; 27	Optimal gradation processing parameter for soft-copy reading of digital mammogram: comparison between the parameter recommended for hard-copy and other parameters.	Kamitani T	放射線科
J Magn Reson Imaging. 2008 ;27(4)	Alteration of proton diffusivity associated with passive muscle extension and contraction.	Hatakenaka M	放射線科
European journal of radiology. 2007; 61(3)	Significance of mesenteric lymphadenopathy after pancreaticoduodenectomy for periampullary carcinomas: evaluation with serial MDCT studies	Ishigami K	放射線科
Journal of clinical gastroenterology 2007; 41(5)	Postgastrectomy development or accentuation of focal fatty change in segment IV of the liver: correlation with the presence of aberrant venous branches of the parabiliary venous plexus.	Yoshimitsu K	放射線科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American journal of roentgenology. 2007; 188(6)	MRI of retroperitoneal solitary fibrous tumor in the suprarenal region	Kakihara D	放射線科
American Journal of Roentgenology. 2007; 188(6)	Detection of the gonadal veins in the diagnosis of transposed ovaries in patients with cervical carcinoma: a useful sign on MDCT	Hirakawa M	放射線科
European journal of radiology. 2007; 63(1)	Usefulness of the long-axis and short-axis reformatted images of multidetector-row CT in evaluating T-factor of the surgically resected pancreaticobiliary malignancies	Kakihara D	放射線科
Clinical imaging 2007; 31(5)	Spectrum of hepatic surface enhancement on contrast-enhanced CT in various abdominal conditions.	Nishie A	放射線科
Comput Med Imaging Graph 2007;31(8)	In vitro imaging of human monocytic cellular activity using superparamagnetic iron oxide.	Nishie A	放射線科
Current problems in diagnostic radiology 2007; 36(5)	Imaging spectrum of cystic pancreatic lesions: learn from atypical cases.	Irie H	放射線科
J Pharmacol Exp Ther. 2007; 321(3)	Protein kinase A inhibits lysophosphatidic acid-induced migration of airway smooth muscle cells.	Hirakawa M	放射線科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 133:1559–65,2007	Reliability of temperatures measured at standard monitoring sites as an index of brain temperature during deep hypothermic cardiopulmonary bypass conducted for thoracic aortic reconstruction	赤田隆	麻酔科蘇生科
J Clin Monitoring 21:249–252,2007	Evaluation of finger and forehead pulse oximeters during mild hypothermic cardiopulmonary bypass	入田和男	麻酔科蘇生科
麻酔 56(4): 469–480, 2007	硬膜外麻酔ならびに脊髄ぐも膜下麻酔にともなう神經損傷: 麻酔関連偶発症調査2004の集計結果より	入田和男	麻酔科蘇生科
麻酔 56(1): 93–102, 2007	麻酔関連偶発症調査からみた小児麻酔の実施状況	入田和男	麻酔科蘇生科
Journal of Anesthesia 2008 Feb	Calcineurin-inhibitor-induced pain syndrome after bone marrow transplantation	野田祐紀子	麻酔科蘇生科
Fukuoka Acta Medica 99(2): 32–41, 2008	Large volume autologous plasma predonation and retransfusion in orthopedic surgical patients.	坂口嘉郎	麻酔科蘇生科
生物物理化学 51, 231–235.	臨床検査値に異常を及ぼす体液成分—発見から報告の仕方まで 酸性条件下で凝集沈澱するIgG4-λ型M蛋白が引き起こしたアルブミン測定への影響	青木義政, 亀子光明, 藤田清貴, 柏森裕三, 康東天	検査部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
てんかん研究 25, 65-73.	側頭葉てんかん切除外科後の長期発作転帰—術後 2 年目と 7 年目との比較—	橋口公章, 森岡隆人, 吉田史章, 宮城靖, 詠 田眞治, 酒田あゆみ, 佐々木富男	検査部
生物試料分析 30, 164-171	クロロホスフォナゾ-IIIを用いた新たな血清カルシウム測定試薬の開発	外園栄作, 中野倫太, 栢森裕三, 大澤進	検査部
Minim Invas Neurosurg 50, 37-42.	Display of the epileptogenic zone on the frontal cortical surface using dynamic voltage topography of ictal electrocorticographic discharges.	Yoshida, F., Morioka, T., Hashiguchi, K., Miyagi, Y., Nagata, S., Ohshio, M., and Sasaki, T.	検査部
J Biochem (Tokyo) 141, 201-211.	The C-terminal tail of mitochondrial transcription factor a markedly strengthens its general binding to DNA.	Ohgaki, K., Kanki, T., Fukuoh, A., Kurisaki, H., Aoki, Y., Ikeuchi, M., Kim, S. H., Hamasaki, N., and Kang, D.	検査部
Proc. SPIE, 6602-660218.	Physical/physiological meaning of frequency modulation in brain wave with/without photostimulation.	Konno, H., Chatani, H., Takahashi, Y., Sakata, A., and Tobimatsu, S.	検査部
Seizure 16, 238-247.	Correlation between scalp-recorded electroencephalographic and electrocorticographic activities during ictal period.	Hashiguchi, K., Morioka, T., Yoshida, F., Miyagi, Y., Nagata, S., Sakata, A., and Sasak, T.	検査部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer science vol.98(7), 1020-1026, 2007	Prognostic implications of the nuclear localization of Y-box-binding protein-1 and CXCR4 expression in ovarian cancer: Their correlation with activated Akt, LRP/MVP and P-glycoprotein expression	Oda Y	病理部
Journal of Pathol vol.212, 218-226, 2007	Oxidative stress and DNA hypermethylation status in renal cell carcinoma arising in the patients on dialysis.	Hori, Oda Y, Tsuneyoshi M:	病理部
Clinical Cancer Reserch vol.13(15), 4371-4377, 2007	The Role of the DNA Damage Checkpoint Pathway in Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas Clinical Cancer Reserch vol.13(15), 4371-4377, 2007	Miyasaka Y, Tsuneyoshi M	病理部
Nat Biotechnol 2007 Oct	Chemotherapy-resistant human AML stem cells home to and engraft within the bone-marrow endosteal region	Ishikawa F et al.	遺伝子・細胞療法部
Oncogene 2007 Oct	Hematopoietic developmental pathways: on cellular basis.	Iwasaki H et al.	遺伝子・細胞療法部
EMBO J 2007 Sep	The Kruppel-like factor KLF4 is a critical regulator of monocyte differentiation.	Feinberg MW et al.	遺伝子・細胞療法部
Blood 2007 Nov	The developmental program of human dendritic cells is operated independently of conventional myeloid and lymphoid pathways	Ishikawa F et al.	遺伝子・細胞療法部
Immunity 2007 Jun	Myeloid lineage commitment from the hematopoietic stem cell.	Iwasaki H et al.	遺伝子・細胞療法部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Science 2007 May	Regulation of B versus T lymphoid lineage fate decision by the proto-oncogene LRF	Maeda T et al.	遺伝子・細胞療法部
Proc Natl Acad Sci USA 2007 Apr	Ott1(Rbm15) has pleiotropic roles in hematopoietic development	Raffel GD et al.	遺伝子・細胞療法部
J Exp Med 2007 Feb	Dendritic cell expression of the transcription factor T-bet regulates mast cell progenitor homing to mucosal tissue.	Alcaide P et al.	遺伝子・細胞療法部
Blood 2007 Feb	Donor-derived thymic-dependent T cells cause chronic graft-versus-host disease	Sakoda M, et al	遺伝子・細胞療法部
European Journal of Immunology 2007 Jan	FTY720 enhances the activation-induced apoptosis of donor T cells and modulates graft-versus-host disease.	Hashimoto D, et al	遺伝子・細胞療法部
Experimental Hematology 2007 Feb	Lymphopenia induced proliferation of donor T cells reduces their capacity for causing acute graft-versus-host disease.	Maeda Y, et al	遺伝子・細胞療法部
European Journal of Hematology 2007 Oct	Toxoplasmosis encephalitis following severe graft-vs. host disease after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: 17 yr experience in Fukuoka BMT group	Matsuo Y, et al	遺伝子・細胞療法部
日本輸血細胞治療学会誌 2007 Dec	輸血前後の感染症マーカー検査についての日本輸血・細胞治療学会運用マニュアル	熊川みどり, et al	遺伝子・細胞療法部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
European Journal of Haematology 2007 Jul.	Distinctive expression of myelomonocytic markers and down-regulation of CD34 in acute myelogenous leukaemia with FLT3 tandem duplication and nucleophosmin mutation.	Mori Y, et al.	遺伝子・細胞療法部
J Infect Chemother	Effect on carotid atherosclerosis of probucol plus levofloxacin for Chlamydia pneumoniae infection	Sawayama Y	総合診療部
感染環境	Evaluation of a New Desktop Washer-Disinfector for the Viral Disinfection of Medical Devices	Murata M	総合診療部
Eur Dermatol	Thymus and activation regulated chemokines in children with atopic dermatitis: Kyushu University Ishigaki Atopic Dermatitis Study (KIDS)	Furusyo N	総合診療部
Am J Trop Med Hyg	Antibody to the Human T-Lymphotropic Virus Type1(HTLV-1) Envelope Protein Gp46 in Patients Co-infected with HCV and HTLV-1	Takeoka H	総合診療部
Helicobacter	Intrafamilial Transmission of Helicobacter pylori among the Population of Endemic Areas in Japan	Fujimoto Y	総合診療部
Clin Endocrinol 67:212-7, 2007	The Leu544Ile Polymorphism of the growth hormone receptor gene affects the serum cholesterol levels during GH treatment in children with GH deficiency.	Ihara K, Inou M, Kuromaru R, Miyako K, Kohno H, Kinukawa N, Hara T	総合周産期母子医療センター

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Pediatr Transplant 11:601-7, 2007	Hematopoietic stem cell transplantation for Diamond-Blackfan anemia: a report from the Aplastic Anemia Committee of the Japanese Society of Pediatric Hematology.	Mugishima H, Ohga S, Ohara A, Kojima S, Fujisawa K, Tsukimoto I	総合周産期母子医療センター
Int J Hematol 86:58-65, 2007	Nation-wide survey analysis of hemophagocytic lymphohistiocytosis (HLH) in Japan.	Ishii E, Ohga S, Imashuku S, Yasukawa M, Tsuda H, Miura I, Yamamoto K, Horiuchi H, Takada K, Ohshima K, Nakamura S, Kinukawa N, Oshimi K, Kawa K	総合周産期母子医療センター
Haematologica 92:978-81, 2007	Perforin gene mutations in hemophagocytic lymphohistiocytosis with late-life onset.	Nagafuji K, Nonami A, Kumano T, Kikushige Y, Yoshimoto G, Takenaka K, Shimoda K, Ohga S, Yasukawa M, Horiuchi H, Ishii E, Harada M	総合周産期母子医療センター
Hum Genet 121:223-32, 200	PD-1 gene haplotype is associated with the development of type 1 diabetes mellitus in Japanese children	Ni R, Ihara K, Miyako K, Kuromaru R, Inuo M, Kohno H, Hara T	総合周産期母子医療センター
J Perinat Med 35:425-30, 2007	Monochorionic twins in which at least one fetus has a congenital heart disease with or without twin-twin transfusion syndrome.	Hidaka N, Tsukimori K, Chiba Y, Hara T, Wake N	総合周産期母子医療センター
Fetal Diagn Ther 22:68-74, 2007	Long-Term Outcome of Infants with Twin-to-Twin Transfusion Syndrome	Hikino S, Ohga S, Kanda T, Nakashima T, Yamamoto J, Nakayama H, Nakano H, Hara T	総合周産期母子医療センター

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Nutrition 23:782-7, 2007	Clinical features of selenium deficiency in infants receiving long-term nutritional support	Masumoto K, Nagata K, Higashi M, Nakatsuji T, Uesugi T, Takahashi Y, Nishimoto Y, Kitajima J, Hikino S, Hara T, Nakashima K, Nakashima K, Oishi R, Taguchi T	総合周産期母子医療センター
Dev Med Child Neurol 49:587-90, 2007	Increased inflammatory markers are associated with early periventricular leukomalacia.	Tsukimori K, Komatsu H, Yoshimura T, Hikino S, Hara T, Wake N, Nakano H	総合周産期母子医療センター
Prenat Diagn 27:507-11, 2007	Prenatal sonographic findings and hematological abnormalities in fetuses with transient abnormal myelopoiesis with Down syndrome.	Hojo S, Tsukimori K, Kitade S, Nakanami N, Hikino S, Hara T, Wake N	総合周産期母子医療センター
J Hum Genet 52:1040-3, 2007	Novel mutations in five Japanese patients with 3-methylcrotonyl-CoA carboxylase deficiency.	Uematsu M, Sakamoto O, Sugawara N, Kumagai N, Morimoto T, Yamaguchi S, Hasegawa Y, Kobayashi H, Ihara K, Yoshino M, Watanabe Y, Inokuchi T, Yokoyama T, Kiwaki K, Nakamura K, Endo F, Tsuchiya S, Ohura T	総合周産期母子医療センター
Vaccine 25:3454-63, 2007	Dermal testing of vaccine for children at high risk of allergies.	Sugai K, Shiga A, Okada K, Iwata T, Ogura H, Maekawa K, Yokota S	総合周産期母子医療センター
Eur J Pediatr 166:607-612, 2007	Risk factors for sensorineural hearing loss in survivors with severe congenital diaphragmatic hernia.	Masumoto K, Nagata K, Uesugi T, Yamada T, Taguchi T	総合周産期母子医療センター

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Nutrition 23:782-787,2007	Clinical features of selenium deficiency in infants receiving long-term nutritional support.	Masumoto K, Nagata K,Higashi M,Nakatsuji T,Uesugi T	総合周産期母子医療センター
J Pediatr Surg 42:2007-2011,2007	Effectiveness of diaphragmatic repair using an abdominal muscle flap in patients with recurrent congenital diaphragmatic hernia.	Masumoto K,Nagata K,Souzaki R,Uesugi T, Takahashi Y	総合周産期母子医療センター
Pediatr Surg Int 23:953-959,2007	Effect of insulin-like-growth factor and its receptors regarding lung development in fetal mice	Nagata K,Masumoto K,Uesugi T,Yamamoto S,Yoshizaki K	総合周産期母子医療センター
Transpl Int 20:616-624,2007	Morphological and physiological changes of interstitial cells of Cajal after small bowel transplantation in rats.	Matsuura T, Masumoto K, Ieiri S, Nakatsuji T, Akiyoshi J	総合周産期母子医療センター
J Pediatr Surg 42:1377-1385,2007	The influence of rejection on graft motility after intestinal transplantation in swine: the possibility of using this method for the real-time monitoring of acute cellular rejection	Matsuura T, Taguchi T, Hayashida M, Ogita K, Takada N	総合周産期母子医療センター
J Pediatr Surg 42:2097-2101,2007	The influence of rejection on graft motility after intestinal transplantation in swine: the possibility of using this method for the real-time monitoring of acute cellular rejection.	Hayashida M, Nishimoto Y, Matsuura T, Takahashi Y, Kohashi K	総合周産期母子医療センター
Hypertension in Pregnancy	Acute Pancreatitis and Cholecystitis Associated with Postpartum HELLP Syndrome: A Case and Review	Hojo S	総合周産期母子医療センター

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
British Journal of Clinical Pharmacology	Neutropenia induced in a patient by treatment with ritodrine: in vitro evaluation of myeloid progenitor colony-forming cells	Tsukimori K	総合周産期母子医療センター
Japan Society of Obstetrics and Gynecology	Intrapartum placement of an inferior vena cava filter for a woman with hereditary antithrombin III deficiency: Its role in the prevention of fatal pulmonary embolism	Hidaka N	総合周産期母子医療センター
Cerebrovascular diseases	Reversible Posterior Encephalopathy Syndrome Followed by MR Angiography-Documented Cerebral Vasospasm in Preeclampsia - Eclampsia: Report of 2 Cases	Tsukimori K	総合周産期母子医療センター
Placenta	Hypoxia Inducible Factor 1 Alpha Regulates Matrigel-induced Endovascular Differentiation under Normoxia in a Human Extravillous Trophoblast Cell Line	Fukushima K	総合周産期母子医療センター
J Electromyogr Kinesiol 17: 596-604, 2007.	Age-related differences in muscle activity, stride frequency and heart rate response during walking in water.	Masumoto K, Takasugi S, Iwamoto Y	リハビリテーション部
Rheumatol Int 27(12): 1135-1142, 2007.	Factors associated with pain and functional limitation in Japanese male patients with knee osteoarthritis.	Kondo K, Miura H, Takasugi S, Iwamoto Y	リハビリテーション部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Laparosc Adv Surg Tech 17:673-678, 2007	Telesurgery System with Original-Quality Moving Images over High-Speed Internet: Expansion within the Asia-Pacific Region.	Shimizu S, Nakashima N, Okamura K, Han HS, Tanaka M	光学医療診療部
Esophagus 4; 50-65, 2007	Minimally invasive radical esophagectomy for esophageal cancer.	Noshiro H, Nogai E, Shimizu S, Uchiyama A, Kojima M, Tanaka M	光学医療診療部
Methods. Info. Med. 46:709-715, 2007	Development of a broadband telemedical network based on internet protocol in the Asia-Pacific region.	Nakashima N, Shimizu S, Okamura K, Hahn JS, Kim YW, Han HS, Torata N, Antoku Y, Lee YS, Tanaka M	光学医療診療部
International Journal of Clinical Oncology 12(2) : 94-98, 2007	MRI-guided laparoscopic and robotic surgery for malignancies.	Hashizume M	先端医工学診療部
Journal of Robotic Surgery 1(1): 91-97, 2007	A neurosurgical navigation system based on intraoperative tumour remnant estimation.	Hong J	先端医工学診療部
International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery 2(1): 1-10 , 2007	A real-time navigation system for laparoscopic surgery based on three-dimensional ultrasound using magneto-optic hybrid tracking configuration.	Konishi K	先端医工学診療部
Surgical Endoscopy 22(3): 552-556, 2008	Real-time magnetic resonance imaging driven by electromagnetic locator for interventional procedure and endoscopic therapy.	Hong J	先端医工学診療部
International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery : , 2008	New real-time MR image-guided surgical robotic system for minimally invasive precision surgery International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery.	Hashizume M	先端医工学診療部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
FEBS Lett	Adiponectin inhibits induction TNF-alpha/RANKL-stimulated NFATc1 via the AMPK signaling.	Yamaguchi N	小児歯科
Orthod Waves 66 : 113-121	Four-dimensional visualization of mandibular movement using an individual's head model reconstructed from cephalograms	Yuuda K	矯正歯科
Orthod Waves-Jpn Ed(2) : 92-105	正常咬合者および顎変形症患者のスマイル動作の三次元解析	石川貴子	矯正歯科
Cleft Palate Craniofac J 44(4): 434-443	Retrospective evaluation of treatment outcome in Japanese children with complete unilateral cleft and palate. Part 1: Five-year-old's index for dental arch relationships	Suzuki A	矯正歯科
Orthod Craniofac Res 10: 181-186	Influence of facial convexity on facial attractiveness in Japanese	Ioi H	矯正歯科
Eur J Orthod 29: 493-499	Comparison of cephalometric norms between Japanese and Caucasian adults in antero-posterior and vertical dimension	Ioi H	矯正歯科
J of Dentistry, 35(6):535-40, 2007.	Long-term follow-up of composite resin restorations with self-etching adhesives.	Unemori M	歯内治療科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Endod. 33(9): 1066-9, 2007.	In vitro comparison of the biocompatibility of mineral trioxide aggregate, 4META/MMA-TBB resin, and intermediate restorative material as root-end-filling materials.	Yoshimine Y	歯内治療科
Differentiation.76(4): 337-347, 2008.	Development of a multipotent clonal human periodontal ligament cell line.	Tomokiyo A	歯内治療科
J Cell Physiol. 215(3): 743-749, 2008	Investigating a clonal human periodontal ligament progenitor/stem cell line in vitro and in vivo.	Fujii S	歯内治療科
日本歯内療法学会 雑誌、29 (1): 20-25, 2008.	クロルヘキシジン添加グラスアイオノマーセメント系シーラーの抗菌作用に関する研究.	西垣奏一郎	歯内治療科
日本歯科保存学 雑誌、50(3): 379-385, 2007.	Er:YAG レーザーの根管内照射による影響 一象牙質感染モデルにおける殺菌効果について	松本妃可	歯内治療科
福岡医誌、 98 (5): 170-175, 2007.	油症患者における歯周疾患ならびに口腔内色素沈着の疫学的調査(第六報).	橋口 勇	歯内治療科
日歯内療誌、 28(3): 143-148, 2007.	ワンステップボンディング材の歯髄細胞障害性および象牙芽細胞への分化に与える影響について.	安田善之	歯内治療科
Journal of Periodontal Research (2007年12月)	Relationship between the presence of periodontopathic bacteria and the expression of chemokine receptor mRNA in inflamed gingival tissues.	野田大輔、濱地貴文、 井上健司、前田勝正	歯周病科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Periodontal Research (2008年2月)	The role of macrophages in the periodontal regeneration using Emdogain gel	藤城直也、濱地貴文、阿南 壽、前田勝正	歯周病科
Journal of Endodontics (2008年1月)	Wound healing process of injured pulp tissues with Emdogain gel	甲斐田 光、濱地貴文、阿南 壽、前田勝正	歯周病科
Clinical Oral Implant Research	Topical application of statin affects bone healing around implants.	Moriyama Y	義歯補綴科
Journal of Biomedical Materials Research	Fabrication of low-crystallinity hydroxyapatite foam based on setting reaction of α -tricalcium phosphate foam.	Karashima S	義歯補綴科
Journal of Biomechanical Science and Engineering	Visualizing displacement and deformation behavior of the periodontium under dental occlusion using the dental image correlation method.	Morita Y	義歯補綴科
Prosthodontic Research & Practice	The relationship between masticatory function and dysphagia in patients with myotonic dystrophy.	Umemoto G	義歯補綴科
Cell Tissue Research	Sequential expression of endothelial nitric oxide synthase, inducible nitric oxide synthase, and nitrotyrosine in odontoblasts and pulp cells during dentin repair after tooth preparation in rat molars.	Mei YF	義歯補綴科
Key Engineering Materials	Apatite foam fabrication based on hydrothermal reaction of α -tricalcium phosphate foam.	Ishikawa K	義歯補綴科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Archives of BioCeramics Research	Fabrication of hydroxyapatite foam by setting reaction of α -tricalcium phosphate.	Takeuchi A	義歯補綴科
Dental materials journal 27:179-86. 2008年3月	Self-cleaning ability of a photocatalyst-containing denture base material.	程 亜麗	咬合補綴科
J Immunol. 1;179(9): 5728-37, 2007	Differential regulation of the nature and functions of dendritic cells and macrophages by cathepsin E.	Kakehashi H	顎口腔外科
Biochem. Biophys. Res. Commun. 9;354(2):567-573	CCN3/NOV inhibits BMP-2-induced osteoblast differentiation by interacting with BMP and Notch signaling pathways.	Minamizato T	顎口腔外科
Int J Cancer 121: 1919-1929.	Regulation of c-Met signaling by the tetraspanin KAI-1/CD82 affects cancer cell migration.	Takahashi M,Sugiura T, Shirasuna, K	顔面口腔外科
Cleft Palate-Craniofac J 44: 434-443,	Retrospective evaluation of treatment outcome in Japanese children with complete unilateral cleft lip and palate. Part I: Five-year-olds' index for dental arch relationship	Suzuki A,Sasaguri M,Kubota Y,Nakamura N	顔面口腔外科
J Dent Res 86: 186-191,	Signaling pathways regulating IL-1a-induced COX-2 expression.	Ogata S,Kubota Y,Shirasuna K	顔面口腔外科
日本口腔外科学会誌 53:220-227.	シェーグレン症候群患者に対する塩酸セビメリンを用いた内服治療の検討	大山順子、中村誠司、佐々木匡理、白砂兼光	顔面口腔外科
日本医用画像工学会誌. 25(4): 257-260,2007	顎放射光を用いた微小焦点蛍光X線源の開発	徳森謙二	口腔画像診断科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本口腔科学会雑誌. 56(3): 291-300,2007	日本人における閉塞型睡眠時無呼吸症候群患者と健常者における軟口蓋と咽頭軟組織の形態差についての頭部X線規格写真による分析	関三千男	口腔画像診断科
Oral Surgery Oral Medicine Oral Pathology Oral Radiology Endodontics. 103(4):550-9,2007	The accuracy of 3-dimensional magnetic resonance 3D vibe images of the mandible: an in vitro comparison of magnetic resonance imaging and computed tomography	後藤 多津子	口腔画像診断科
Journal of Oral Maxillofacial Surgery. 103(4): 550-559, 2007	A newly developed interventional sialendoscope for a completely nonsurgical sialolithectomy using intracorporeal electrohydraulic lithotripsy	中山 英二	口腔画像診断科
日本歯科放射線学会雑誌. 47(2): 65-74,2007	2D-Look-Locker sequence を使用した T1 計測の試み	筑井 徹	口腔画像診断科
日歯教誌 23(1):70-76 2007	九州大学病院歯科医師臨床研修における協力型施設と研修歯科医のマッチング	松家洋子、他 7 名	口腔総合診療科
日本歯内療法学会雑誌 27(3): 126-131 2007	MTA および Super-Bond のヒト歯根膜細胞の骨芽細胞様分化に及ぼす影響に関する研究	野田亮、前田英史、藤井慎介、和田尚文 他 3名	口腔総合診療科
日歯教誌 23(2):183-190 2007	九州大学病院歯科医師臨床研修における卒直後教育環境評価	王丸寛美、他 7 名	口腔総合診療科
Anesthesia & Analgesia. 2007; 97:424-429.	Increased γ -Aminobutyric Acid Levels in Mouse Brain Induce Loss of Righting Reflex, but Not Immobility, in Response to Noxious Stimulation.	Sohtaro Katayama, Masahiro Irfune, Nobuhito Kikuchi, Tohru Takarada,他6名	口腔総合診療科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Canadian Journal of Anesthesia. 2007; 54(12):998-1005	MK-801 enhances gabaculine-induced loss of the righting reflex in mice, but not immobility.	Masahiro Iriune, Sohtaro Katayama, Tohru Takarada 他7名	口腔総合診療科
Anesthesia Progress. 2007;54(1):2-6	An Alternative Approach to the Monitoring of Respiration by Dynamic Air-pressure Sensor.	Tohru Takarada, Michio Kawahara, Masahiro Iriune,他7名	口腔総合診療科

計 362 件

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 久保千春
管理担当者氏名	各診療科長 診療録管理室長 水元一博 放射線部長 本田浩 薬剤部長 大石了三 総務課長 河野雅史 医療管理課長 松田篤郎

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録	外来分… 各診療科 入院分… 診療録管理室 各診療科	外来カルテは一診療科一カルテ方式で各診療科が保管。 入院カルテは平成17年4月1日退院分より診療録管理室にて一括保管。それ以前のカルテは各診療科が保管。 エックス線写真は、検査の種類により、各診療科及び放射線部が保管。	
エックス線写真	各診療科 放射線部	平成20年2月1日外来及び入院診療分から、電子カルテ及びPACS(医用画像)にて電子媒体保存。一部診療に関する各科の記録書類(紹介状、入院診療計画書等)については、外来・入院文書フォルダーで診療録管理室にて一括保管。	
処方せん 病院日誌	薬剤部 総務課		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿 高度の医療の提供の実績 高度の医療技術の開発及び評価の実績 高度の医療の研修の実績 閲覧実績 紹介患者に対する医療提供の実績 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課 医療管理課 医療管理課 総務課 総務課 医療管理課 医療管理課 薬剤部	
体規制則確第 保9の条 状の況2 3及び 第1 1 各号 に 掲 げ る	専任の医療に係る安全管理を行 う者の配置状況 専任の院内感染対策を行 う者の配置状況 医療に係る安全管理を行 う部門の設置状況 当該病院内に患者からの 安全管理に係る相談に適切 に応じる体制の確保状況 医療に係る安全管理のた めの指針の整備状況 医療に係る安全管理のた めの委員会の開催状況 医療に係る安全管理のた めの職員研修の実施状況 医療機関内における事故 報告等の医療に係る安全の 確保を目的とした改善のた めの方策の状況	総務課 総務課 総務課 総務課 医療管理課 医療管理課 医療管理課 医療管理課	

(様式第12)

			保管場所	分類方法
規則 1 1 条各号 に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療管理課		
	院内感染のための委員会の開催状況	医療管理課		
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課		
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	医療管理課		
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療管理課		
	従業者に対する医薬品の安全な使用のための研修の実施状況	医療管理課		
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課		
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療管理課		
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療管理課		
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課		
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課		
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療管理課		

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 三井 大造
閲覧担当者氏名	総務課長 河野 雅史
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	医 師 延 0 件
	歯 科 医 師 延 0 件
	国 延 0 件
	地 方 公 共 団 体 延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	76.8 %	算 定 期 間	平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			20,179 人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			19,566 人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,839 人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			34,548 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> (有) (2名) • 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> (有) (2名) • 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> (有) • 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（ 3）名 兼任（17）名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他委員会の庶務に関すること。 (2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認を行なうとともに、必要な指導を行なうこと。 (3) 患者や家族への説明など、事故発生時の対応状況について確認を行なうとともに、必要な指導を行なうこと。 (4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行なうこと。 (5) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関するこ。 (6) 医療安全に係る職員の教育・研修に関するこ。 (7) 医療安全に係る連絡調整に関するこ。 (8) 医療事故防止対策マニュアルに関するこ。 (9) その他医療安全対策の推進に関するこ。 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="radio"/> (有) • 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="radio"/> (有) • 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療安全管理は、病院長のもとで医療安全管理委員会を中心に関連部署と連携し病院全体で取り組むこと。 (2) 職員は医療安全管理に関する教育や研修に積極的に参加すること。 (3) 医療安全管理対策・改善策等の情報は、職員にフィードバックし、職員全体で共有すること。 (4) 医療事故等が発生した場合には、医療上の最善の措置をすみやかに講じ、患者さんやご家族・ご遺族の身体・精神状態を考慮しつつ、事実を誠実に、かつすみやかに説明すること。 (5) 「医療安全管理マニュアル」を作成し、職員に周知すること。 (6) 医療安全管理に関する基本方針を院内掲示板等にて公開すること。 (7) 患者さんからの相談のうち、特に医療安全に関わりがあると判断された事例についてはセーフティマネージャーが対応すること。 	

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <p>(1) 医療事故防止のための具体的措置に関すること。 (2) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。 (3) 医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。 (4) 医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。 (5) 改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。 (6) 医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。 (7) 医療事故等発生時の患者や家族への説明に関すること。 (8) インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。 (9) 医療安全管理部（以下「安全管理部」という。）の業務に関すること。 (10) その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。</p>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <p>別紙のとおり</p>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容 : <p>① 時間外の報告体制の整備：医療安全管理部に公用携帯電話を整備 ② 南棟トイレ内の配管露出部分へのカバー設置 ③ 「入院のごあんない」に患者向けの医療安全に関する説明を掲載</p>	

平成19年度 医療安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
5/23	90分	486	医療安全管理研修会	「中心静脈穿刺の安全対策 ～穿刺器材からみた血管穿刺の安全性～」	東海大学医学部外科学系 麻酔科鈴木利保教授
6/4	60分				
6/5	60分	1,318	医療安全管理研修会	九大病院における医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー、北村セーフ ティマネージャー
6/11	60分				
7/12	60分				
7/13	60分	643	医療安全管理研修会	「モニタのアラームと安全管理」 「除細動器の取り扱いについて」	日本光電 MEセンター 三島 博之
9/20	60分	108	医療安全管理研修会	九大病院における医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
9/21	60分	52			
10/1	20分	12	医療安全管理研修会(循内)	九大病院における医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
10/4	20分	92	医療安全管理研修会(歯科)	九大病院における医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
10/15	60分				
10/16	60分	745	医療安全管理研修会	「転倒転落・防止のポイント－インシデントレポート から見えてきたもの－」 「医薬品の安全使用について」	北村セーフティマネージャー 川重薬剤部副部長
10/18	20分	17	医療安全管理研修会(児歯)	九大病院における医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
10/19	25分	28	医療安全管理研修会(麻酔)	九大病院における医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
10/30	20分	33	医療安全管理研修会(小児)	九大病院における医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
11/15	60分	20	医療安全管理研修会(心内)	九大病院における医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
11/19	20分	11	医療安全管理研修会(全身管理歯科)	九大病院における医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
12/5 ～12/7	70分 × 3回	221	医療安全管理 ビデオ研修会	「中心静脈穿刺の安全対策 ～穿刺器材からみた血管穿刺の安全性～」	東海大学医学部外科学系 麻酔科鈴木利保教授
12/20	30分	26	医療安全管理研修会(一外)	九大病院における医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
12/27	35分	23	医療安全管理研修会(皮膚)	九大病院における医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
1/21 ～1/25	60分 × 5回	761	医療安全管理 ビデオ研修会	みんなで考えよう医療事故防止対策 外	ビデオ教材
2/21 ～2/25	60分 × 3回	396	医療安全管理研修会	九大病院における医療安全管理についてⅡ	秋好セーフティマネージャー、北村セーフ ティマネージャー
小計		4,992			

○ 採用者への研修会

<対象者:医師>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
4/2	30分	60	歯科医師臨床研修オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー、草野医療管理課長補佐
4/3	150分	69	新規採用研修医オリエンテーション	医療安全管理について	鮎澤病院長補佐、秋好セーフティマネージャー、草野医療管理課長補佐
4/4	90分	47	新規採用研修医オリエンテーション(1年次)	医療安全管理ビデオ研修会「実例に学ぶ－医療事故」「みんなで考えよう医療事故防止対策」	
4/23	15分	20			北村セーフティマネージャー
4/24	15分	29	新規採用医員オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
4/27	15分	19			
小計		244			

<対象者:看護師>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
4/3	60分	322		医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
4/4	130分 × 3	130	新採用者オリエンテーション	移送介助	秋好セーフティマネージャー、北村セーフティマネージャー、五嶋副看護師長、古川副看護師長
4/5	130分 × 3	129			
5/22	90分 × 2	87			
5/24	90分 × 2	86	院内研修(新採用者・新卒)	リスク管理レベル I	秋好セーフティマネージャー
5/29	90分 × 2	85			
6/1	90分 × 2	84	院内研修(新採用者・既卒)		
9/3	60分	10	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
9/28	60分	10			
1/4	60分	14	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
2/19	60分	6	中途採用者オリエンテーション	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
小計		963			

<対象者:コメディカル>

4/3	60分	20	新採用者オリエンテーション(医療技術部)	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
小計		20			

○ 職種別研修会

<対象者:看護師>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
6/26	60分	35	看護助手研修	リスク管理	秋好セーフティマネージャー
7/30	0.5日	41	看護部院内研修	リスク管理レベルⅡ	秋好セーフティマネージャー
12/7	0.5日×2回	97	副看護師長研修	医療安全対策	秋好セーフティマネージャー
1/22 ～1/25 (1日2回)	90分×8回	312	看護部院内研修	リスク管理2(レベル1)	秋好セーフティマネージャー
小計		485			

<対象者:その他>

4/3	90分	12	薬剤部研修生集中教育	薬剤部におけるリスクマネジメント	末安薬剤部副部長
6/20	25分	15	ボランティア研修会	医療安全について	秋好セーフティマネージャー
9/18	60分	59	委託業者対象研修会	安全に仕事をするために(医療安全・感染対策に関する研修会)	秋好セーフティマネージャー、権藤感染担当看護師長
10/2	90分	2	薬剤部研修生集中教育	薬剤部におけるリスクマネジメント	末安薬剤部副部長
1/4	60分	1	きらめきプロジェクト研修会	医療安全管理について	秋好セーフティマネージャー
小計		89			
総 計		6,793			

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

(1) 院内感染対策のための指針の策定状況	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <p>(1) 院内感染対策は院内全体で取り組み、院内の異なる領域の専門家で組織化された感染制御部を常置し、院内感染防止対策を実践すること。</p> <p>(2) 病院長を委員長とする各部署の代表を構成委員とした院内感染予防対策委員会を設置し、毎月及び重大な問題が発生した場合に適宜開催すること。</p> <p>(3) 院内感染対策に関する研修会は全職員を対象として開催し、感染対策に対する意識向上を図ること。</p> <p>(4) 感染制御部は、届出が必要な感染症患者又は注意すべき感染症が発生した場合、発生部署に対し感染防止について指導すること。また、感染症法に則り保健所に届出する必要がある場合は、これを指導すること。</p> <p>(5) 感染制御部長は、感染経路の特定と原因の究明、拡大防止の具体的対応策を検討すること。また、病院長は、感染制御に必要な対応策を決定すること。</p> <p>(6) 職員は、患者との情報の共有に努めるとともに、患者及びその家族等から閲覧の求めがあった場合は、これに応じること。</p> <p>(7) 院内感染対策の推進のため、「院内感染防止対策指針」を定期的に見直し、周知徹底を行うこと。</p>	
(2) 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <p>(1) 院内感染防止対策のための措置に関すること。</p> <p>(2) 院内感染防止対策に係る職員の教育及び研修に関すること。</p> <p>(3) 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知等に関すること。</p> <p>(4) 感染制御部の業務に関すること。</p> <p>(5) その他院内感染防止対策に関すること。</p>	
(3) 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 42 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 : <p>別紙のとおり</p>	
(4) 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/>・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容 : <p>① 耐性菌の検出時の連絡、指導方法の整備</p> <p>② 抗菌薬使用に関する感染診療指針の整備</p> <p>③ 感染微生物報告書、抗菌薬使用届の電子カルテにおけるシステム化</p> <p>④ 針刺し事故・血液曝露事故ゼロ運動</p>	

平成19年度 院内感染対策研修会

別 紙

○ 全体に向けた内容の研修会

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成19年6月18日	70分	361	院内感染対策セミナー	今、注意すべき感染症	呼吸器科 中西洋一教授、 小児科 楠原浩一准教授
平成19年10月5日	90分	160	歯科部門研修会	歯科における感染対策	樋口勝規口腔総合診療部教授 院内感染対策 歯科WG
平成19年10月19日	75分	123	院内感染対策セミナー	院内肺炎	長崎大学病院感染免疫学講座 河野 茂教授
平成20年2月28日	90分	137	院内感染対策セミナー	ウィルス性発疹症と院内感染(麻疹・風疹・水痘)	小児科 楠原浩一准教授
小計		781			

○ 採用者への研修会

<対象者:医師>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成19年4月3日	60分	60	歯科医師臨床研修医オリエンテーション	感染予防対策	感染制御部(全身管理歯科)安部喜八郎
平成19年4月5、6、9日	90分×3	60	歯科医師臨床研修医オリエンテーション	手洗い演習	権藤感染対策担当看護師長
平成19年4月6日	30分	47	新規採用研修医オリエンテーション	院内感染予防策について	林教授 感染制御部部長
平成19年4月6日	60分	47	新規採用研修医オリエンテーション	手洗い演習	権藤感染対策担当看護師長
小計		214			

<対象者:看護師>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成19年4月3日	60分	322	新採用者看護部オリエンテーション	感染防止について	松本副看護部長(看護部教育担当)
平成19年4、5日	130分×6	259	新採用者看護部オリエンテーション	手洗い演習	権藤感染対策担当看護師長
平成19年22、24、29日	0.5日×6	258	院内研修(新採用者・新卒)	リスク管理 I	権藤感染対策担当看護師長
平成19年6月1日	0.5日×2	84	院内研修(新採用者・既卒)	リスク管理 I	権藤感染対策担当看護師長
平成19年9月3日	30分	10	中途採用者オリエンテーション	病院感染対策について	権藤感染対策担当看護師長
平成19年9月28日	30分	10	中途採用者オリエンテーション	病院感染対策について	権藤感染対策担当看護師長
平成20年1月4日	30分	14	中途採用者オリエンテーション	病院感染対策について	権藤感染対策担当看護師長
平成20年2月19日	30分	6	中途採用者オリエンテーション	病院感染対策について	権藤感染対策担当看護師長
小計		963			

○ 職種別研修会

<対象者:看護師>

別 紙

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成19年6月26日	0.5日	35	看護助手研修	リスク管理	権藤感染対策担当看護師長
平成19年6月21日	1日	30	看護部院内研修	院内感染制御対策	感染制御部 塚田敏夫(薬剤部) 権藤感染対策担当看護師長
平成19年7月30日	0.5日	41	看護部院内研修	リスク管理レベルⅡ	権藤感染対策担当看護師長
平成20年1月22、23、24日	90分×8	312	看護部院内研修	リスク管理2(レベル1)	権藤感染対策担当看護師長
小 計		418			

<対象者:その他>

開催日	開催時間	参加人数	研修会名	テーマ等	講師等
平成19年9月18日	30分	59	委託業者対象研修会	あなたが感染しない感染させないために	権藤感染対策担当看護師長
平成19年9月19日	120分	23	ボランティア研修会	病気を人にうつさない、人からうつされないために 手洗い演習	松本副看護部長(看護部教育担当)
小 計		82			
総 計(のべ)		2,458			

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 <input checked="" type="radio"/> • 無 <input type="radio"/>
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 医薬品の安全使用のための業務手順書に関すること 医薬品の有効性、安全性、使用方法に関すること（新採用看護師対象） (内服薬の服用時期、食物との相互作用、溶解・希釈、投与速度に注意が必要な注射薬等) 転倒・転落につながりやすい医薬品 医薬品副作用の報告制度と発現時の報告体制に関すること（院内、厚生労働省） 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成（有 <input checked="" type="radio"/> • 無 <input type="radio"/> ） 業務の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 薬剤師、看護師による病棟および外来診所配置注射薬の管理状況チェック（月1回） 配置注射薬の使用状況を各病棟に通知し、適正在庫量への調整を依頼（月1回） 救急カート内注射薬の見直し、期限チェック、入れ替え 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医薬品に係る情報の収集の整備（有 <input checked="" type="radio"/> • 無 <input type="radio"/> ） その他の改善の方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 手順書の見直し 情報の院内通知（ホームページ、電子メール、オーダーシステム上） 副作用を収集し厚生労働省へ報告 疑義照会データの共有による医師のオーダ内容の適正化 散剤分包紙への処方内容印字により、与薬時・服用時の識別性、安全性向上 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 14 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">医療機器の新規導入時に当該医療機器を使用する予定者に対する安全使用等に関する研修特定機能病院において、特に安全使用に際しての習熟が必要な医療機器に対しての定期研修既納入医療機器のバージョンアップ時における安全使用等に関する研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (有 <input checked="" type="radio"/>) 無 <input type="radio"/>保守点検の主な内容： 日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順書に則って実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (有 <input checked="" type="radio"/>) 無 <input type="radio"/>その他の改善の方策の主な内容： 院内情報は、医療安全管理部に報告され、管理者および医療機器安全管理責任者に情報が伝達される。また、医薬品医療機器情報配信サービスの情報を院内メールにて職員に周知している。	